

令和5年度

中 教 研

—各部会研究活動の概要と紹介—



京都市立中学校教育研究会

表紙の作品 作者 島田敬吾（桃陵中学校 3年）

はじめに

京都市立中学校教育研究会の部会長先生をはじめ、会員の皆さまには、研究会活動の推進にご尽力いただいておりますことに、心より敬意を表します。

また、令和5(2023)年度の研究会活動のまとめとなる「中教研」を編集するにあたり、執筆などにご協力いただきましたことに、改めて厚く御礼申し上げます。

さて、コロナ感染症の5類移行に伴い、少しずつではありますが、従前の取組が行えるようになり、また、GIGAスクール構想を始めとしたこのコロナの期間に新たに得た考え方や手法を取り入れることにより、大きな転換期を迎えた1年でありました。また、すでに次の学習指導要領に向けた変革の話題も少しずつ聴こえてくる時期ともなっております。

育成すべき資質・能力が三つの柱で示され、各教科における観点別学習評価の観点も、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の三観点に整理され3年が経過しました。しかし、まだまだ評価の在り方については、各校において研修を積み重ねながら悩まれていることもあろうかと思えます。学習評価は、子どもたちの学習の成果を的確に捉え、教員が指導の改善を図るとともに、子どもたち自身が自らの学びを振り返って、次の学びに向かうことができるようにするために、重要な営みであります。客観性や公平性など信頼性の高い学習評価のためには、日々の研鑽が必要であるとともに、教科会などでの十分な吟味を経て、学校として生徒・保護者に届ける必要があります。教科の枠を越えて京都市全体として英知を結集して取り組んでいきたいと思っております。

本冊子には、各研究部会の活動記録や成果と課題などが掲載されております。つきましては、各校や各研究部会におかれまして、本冊子をご活用いただければ幸甚です。

なお、昨年度より冊子化ではなく、データとして総合教育センターのホームページ内「中教研」のフォルダに保存し、多くの方に閲覧および活用していただけるように変更いたしました。特に若手教員の方々に中教研の活動を知っていただく機会になればと考えておりますのでご周知いただくと幸いです。よろしくお願いいたします。

令和6年3月

京都市立中学校教育研究会
会 長 今 津 敏 一

目 次

1. はじめに	1
2. 目 次	2
3. 京都市立中学校教育研究会 会則	3
4. 歴代会長・副会長名一覧表	4
5. 令和5年度 部会役員名簿一覧表	5
6. 令和5年度 本部役員一覧表	6
7. 令和5年度 事業報告	7
8. 各部会の研究活動の概要と紹介	
(1) 国語部会	8
(2) 社会科部会	9
(3) 数学部会	10
(4) 理科部会	11
(5) 音楽部会	12
(6) 美術部会	13
(7) 保健部会	14
(8) 体育部会	15
(9) 技術・家庭科部会	16
(10) 英語部会	17
(11) 道徳部会	18
(12) 特別活動部会	19
(13) 教育相談(カウンセリング)部会	20
(14) 人権教育部会	21
(15) 教務部会	22
(16) 生徒指導部会	23
(17) 進路指導部会	24
(18) 安全教育部会	25
(19) 情報教育部会	26
(20) 図書館教育部会	27
(21) 発達障害教育部会	28
(22) 二部学級部会	29
(23) へき地・小規模校教育部会	30
(24) 吹奏楽部会	31
(25) 新聞教育部会	32
(26) 放送教育部会	33
(27) 演劇部会	34
(28) 食教育部会	35
(29) 総合的な学習の時間部会	36
(30) 研究主任部会	37
(31) 環境教育部会	38
(32) 生き方探究(キャリア教育)部会	39
(33) LD等支援教育部会	40
9. 第38回京都市中学校総合文化祭プログラム	41・42

京都市立中学校教育研究会 会則

- 第1条 本会は、京都市立中学校教育研究会と称し、本部を会長校に置く。
- 第2条 本会は、京都市立中学校、義務教育学校及び総合支援学校教職員で組織する。
- 第3条 本会は、京都市立中学校教育の全般にわたり総合的に調査研究を行い、教育の充実・発展を図ることを目的とする。
- 第4条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。
1. 中学校教育に関する調査研究
 2. 研究会、講演会、研究発表会等の開催
 3. 研究物の刊行
 4. その他、必要な事業
- 第5条 本会は、別表に掲げる部会で構成する。各部会に部会長、副部会長及びその他の役員を置く。
- 第6条 本会に次の役員を置く。
1. 会長 1名 本会を代表し、会務を総括する。
 2. 副会長 若干名 会長を補佐し、会長に事故あるときはその任務を代行する。
 3. 庶務 2名 庶務に関する事務をつかさどる。
 4. 会計 2名 会計に関する事務をつかさどる。
 5. 広報 2名 広報に関する事務をつかさどる。
- 第7条 本会の会計を監査するため、会計監査を2名置く。
- 第8条 役員及び会計監査は、毎年京都市立中学校教育研究会研究部会長会において選出し、その任期は1年とする。
- 第9条 本会運営のため、顧問及び常任委員を若干名置くことができる。顧問及び常任委員は、会長が委嘱し任期は役員に準じる。
- 第10条 本会の業務を遂行するため、次の会議を行う。
1. 役員会
 2. 部会長会
- 第11条 本会の経費は、会費、補助金、その他をもってこれに充てる。
なお、会計年度は4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

付記；本会則は、昭和41年 4月 1日より実施する。
本会則は、平成13年11月20日一部追加する。
本会則は、平成14年 7月15日一部追加する。
本会則は、平成17年 2月15日一部修正する。
本会則は、平成19年 6月19日一部修正する。
本会則は、平成30年 6月19日一部追加する。

歴代会長・副部会長名一覧表

京都市立中学校教育研究会

年度	会 長	副 会 長		
昭和41年度	西田 重雄	松木 昇		
42	今北初太郎	佐々木 博隆		
43	佐々木 博隆	前野小一郎		
44	佐々木 博隆	前野小一郎		
45	佐々木 博隆	鶴木 賢一		
46	鶴木 賢一	山崎 外次	中沢 良三	
47	鶴木 賢一	山崎 外次	中沢 良三	
48	田中喜代三	山本 新一	富永 二郎	
49	田中喜代三	山本 新一	富永 二郎	
50	河原 茂美	福井 要	橋爪 清	
51	中辻 澤蔵	荒木 光雄	垣内 雪夫	
52	中辻 澤蔵	垣内 雪夫	池田 繁三	
53	中辻 澤蔵	垣内 雪夫	松永 義男	
54	松永 義男	垣内 雪夫	寺澤 寛祐	
55	寺澤 寛祐	垣内 雪夫	矢倉 達夫	
56	吉岡 基茂	田中 始英	岩井 辰一	
57	吉岡 基茂	田中 始英	堤 利光	
58	吉岡 基茂	堤 利光	桐山 又男	
59	北条 直樹	桐山 又男	忒田 昌弘	
60	北条 直樹	忒田 昌弘	堤 利光	
61	忒田 昌弘	堤 利光	吉岡 克己	
62	堤 利光	辻 禮三	山崎 徹	
63	藤井 健一	辻 禮三	木原 久男	
平成 元	荒井 修治	岡野 稔	山上 智男	
2	森 茂樹	山上 智男	吉田 敏彦	
3	森 茂樹	山上 智男	吉田 敏彦	
4	荻野 祐二	平岡 五男	今西 一浩	
5	荻野 祐二	平岡 五男	今西 一浩	
6	今西 一浩	平岡 五男	橋本 芳継	
7	橋本 芳継	山崎 嘉久	大橋 宝成	
8	橋本 芳継	山崎 嘉久	大橋 宝成	
9	橋本 芳継	村田 泓	大橋 宝成	
10	村田 泓	大橋 宝成	上田 靖男	
11	村田 泓	大橋 宝成	増田 秀嗣	
12	増田 秀嗣	清水 勲	山本 宏之	
13	増田 秀嗣	清水 勲	山本 宏之	
14	山本 宏之	清水 勲	藤野 適宏	
15	山本 宏之	藤野 適宏	松村 英雄	
16	藤野 適宏	松村 英雄	西村 惠美	
17	壁谷 洋一	西村 惠美	梅村 正男	細谷 僚一
18	壁谷 洋一	梅村 正男	細谷 僚一	奥谷 功
19	細谷 僚一	河口 芳嗣	井手賀世子	中田 雄二
20	細谷 僚一	畑中 義伸	浦 一夫	中田 雄二
21	中田 雄二	畑中 義伸	浦 一夫	廣瀬 忠愛
22	荒木 馨一	畑中 義伸	寺嶋 丈雄	細辻 吉弘
23	荒木 馨一	宮本 信二	足立 徹	安田 和彦
24	柴本三紀夫	塩谷 道次	小野 尚志	西垣 和彦
25	柴本三紀夫	武田 有子	小野 尚志	西垣 和彦
26	柴本三紀夫	武田 有子	小野 尚志	西垣 和彦
27	武田 有子	太田 和男	土田 浩	藤井 秀治
28	武田 有子	久保 薫	小滝 俊則	蒲田 悟
29	久保 薫	吉井 朗夫	小滝 俊則	蒲田 悟
30	久保 薫	上山 義宏	小滝 俊則	蒲田 悟
令和 元	堀田 和宏	上山 義宏	小滝 俊則	今津 敏一
2	堀田 和宏	今津 敏一	高垣 明夫	山下 道夫
3	高垣 明夫	今津 敏一	東郷 伸也	山下 道夫
4	今津 敏一	石田 博之	東郷 伸也	土岐 文行
5	今津 敏一	石田 博之	東郷 伸也	土岐 文行

令和5年度 京都市中学校教育研究会 会長名一覧

番号	研究団体名	会長	所属校
1	京都市立中学校教育研究会国語部会	今西 邦浩	近衛中
2	京都市立中学校教育研究会社会科部会	森 茂昭	下京中
3	京都市立中学校教育研究会数学部会	今津 敏一	小栗栖中
4	京都市立中学校教育研究会理科部会	東郷 伸也	西京極中
5	京都市立中学校教育研究会音楽部会	山口 基之	京都御池中
6	京都市立中学校教育研究会美術部会	新谷 幸三	桃陵中
7	京都市立中学校教育研究会保健部会	小林 鉄男	洛西中
8	京都市立中学校教育研究会体育部会	高田 幸信	中京中
9	京都市立中学校教育研究会技術・家庭科部会	土岐 文行	檉原中
10	京都市立中学校教育研究会英語部会	上野 政弘	向島秀蓮小中
11	京都市立中学校教育研究会道徳部会	西岡 繁穂	朱雀中
12	京都市立中学校教育研究会特別活動部会	藤井 泉	西ノ京中
13	京都市立中学校教育研究会教育相談(カウンセリング)部会	大曾根好宏	岡崎中
14	京都市立中学校教育研究会国際理解教育部会	休 会	
15	京都市立中学校教育研究会人権教育部会	川島 浩明	九条中
16	京都市立中学校教育研究会教務部会	小野 高志	下鴨中
17	京都市立中学校教育研究会生徒指導部会	川上 貴由	大淀中
18	京都市立中学校教育研究会進路指導部会	逆水 英治	烏丸中
19	京都市立中学校教育研究会安全教育部会	勝原 雅美	蜂ヶ岡中
20	京都市立中学校教育研究会情報教育部会	今枝潤之輔	久世中
21	京都市立中学校教育研究会図書館教育部会	瀧本祐一郎	大原小中
22	京都市立中学校教育研究会発達障害教育部会	小田 浩之	洛北中
23	京都市立中学校教育研究会二部学級部会	間野 郁夫	洛友中
24	京都市立中学校教育研究会へき地・小規模校教育部会	小川 秀	宕陰小中
25	京都市立中学校教育研究会吹奏楽部会	山口 基之	京都御池中
26	京都市立中学校教育研究会新聞教育部会	山崎 直人	嵯峨中
27	京都市立中学校教育研究会放送教育部会	岩佐 峰之	西京高校附属中
28	京都市立中学校教育研究会演劇部会	笠原 光徳	松原中
29	京都市立中学校教育研究会食教育部会	谷川 玲子	旭丘中
30	京都市立中学校教育研究会野外教育部会	休 会	
31	京都市立中学校教育研究会総合的な学習の時間部会	森下 浩樹	加茂川中
32	京都市立中学校教育研究会評価部会	休 会	
33	京都市立中学校教育研究会研究主任部会	今津 敏一	小栗栖中
34	京都市立中学校教育研究会環境教育部会	小川 秀	宕陰小中
35	京都市立中学校教育研究会キャリア教育部会	高橋 佳久	七条中
36	京都市立中学校教育研究会LD等支援教育部会	石田 裕之	栗陵中

【本部役員】

役 職	名 前	メー ル	学 校 名
会 長	今 津 敏 一	④	小 栗 栖 中 学 校
副 会 長	森 茂 昭	①	下 京 中 学 校
	東 郷 信 也	⑤	西 京 極 中 学 校
	土 岐 文 行	⑤	檜 原 中 学 校
庶 務	上 野 政 弘	①	向 島 秀 連 小 中 学 校
	藤 井 泉	③	西 ノ 京 中 学 校
	山 口 基 之	⑦	京 都 御 池 中 学 校
	森 下 治 樹	③	加 茂 川 中 学 校
会 計	石 田 裕 之	④	栗 陵 中 学 校
広 報	今 西 邦 浩	⑥	近 衛 中 学 校
	高 田 幸 信	①	中 京 中 学 校
会 計 監 査	勝 原 雅 美	③	蜂 ケ 岡 中 学 校
顧 問	校 長 会 役 員 か ら		
《事務局》	京 都 市 立 小 栗 栖 中 学 校	電 話 075-572-3135 FAX 075-572-3165	

京 都 市 教 育 委 員 会

【指導部 学校指導課】

統括首席指導主事	石 井 大 記
中学校教育係長	小 出 奈 々 子
中教研担当首席指導主事	山 田 敦
中総文担当首席指導主事	三 科 俊 一
中総文担当係員	三 田 恭 平

【京都市総合教育センター】

中教研担当首席指導主事	田 中 圭
中教研担当研修主事	柴 本 三 紀 夫
中総文担当指導主事	太 田 美 佐 和

中教研事業報告

- ▼ 5月25日(木) ○第1回中教研役員会(書面開催)
- ▼ 6月20日(火) ○中教研部会長会(校長総会後 総教Cにて)
 - *令和4年度事業報告・決算報告
 - *令和5年度会長・本部役員承認
 - *令和5年度事業計画 他
- ▼ 7月14日(金) ○第1回中学校総合文化祭(中総文)実行委員会(校長総会後 総教Cにて)
 - *実行委員会部会長会・役員選出
 - *実施日時・会場確認
- ▼10月・11月 ○第39回京都市中学校総合文化祭

開催日	名 称	担当部会名	会 場
10月21日(土)	生徒理科研究発表会	理科部会	京都市青少年科学センター
11月 3日(祝)	朗読コンクール	国語部会	京都市総合教育センター
	子ども体験教室 プログラミングでドローンを動かそう	情報教育部会	
	英語学習発表会	英語部会	
	ビブリオバトル	図書館教育部会	
11月 3日(祝) 11月 4日(土)	新聞展	新聞教育部会	堀川御池ギャラリー
	技術・家庭科生徒作品展	技術・家庭科部会	
	生徒社会科作品展	社会部会	
	美術展	美術部会	
11月 4日(土)	弁論大会	道徳部会	京都市総合教育センター
	生徒音楽会	音楽部会	京都堀川音楽高等学校音楽ホール
11月 5日(日)	吹奏楽演奏発表会	吹奏楽部会	
11月3日(祝) 11月5日(日)	演劇合同発表会	演劇部会	立命館大学 以学館キャンパス

- ▼10月24日(火) ○学習確認プログラム委員会
 - ・実施状況の報告、来年度に向けて、各学年の実施回数及び科目数の検討と必要経費の確認
 - ・令和5年度プロポーザルに向けての検討(オンライン)
- ▼12月19日(火) ○ジョイント・学習確認プログラムプロポーザルヒアリング(オンライン)
- ▼ 1月16日(月) ○第2回中学校総合文化祭(中総文)実行委員会(総合教育C)
 - *今年度の各事業総括及び次年度に向けて
 - *次年度の実施内容及び日程・会場確認 他
- ▼ 3月18日(水) ○『中教研』冊子(電子化)完成・発信(市中校長総会時報告)
- ▼ 随 時 ○学習確認プログラム委員会(1年・2年・3年)運営
○役員会

国語部会

通称：ちゅうこっけん

事務局：京都市立近衛中学校

会員数：約270人

《研究テーマ》

新学習指導要領に基づいた資質・能力が身に付く指導法の探究と、知識・技能、思考力・判断力・表現力を高め、主体的に発揮させる諸事業の充実
～GIGA端末を活用しながら新たな教材や学習活動に積極的に取り組む生徒像を目指して～

《役員・組織》

部会長 今西邦浩（近衛）

副部会長 岩佐武司（凌風） 岩田智典（東山泉） 小野高志（下鴨） 瀧本祐一郎（大原）

林 秀雄（松尾） 森本康裕（藤森） 立垣典子（北野） 高橋佳久（七条）

河邊利夫（衣笠） 宇野宏文（大原野）

本部 総務 研究部チーフ 新庄泰子（小栗栖） 事業部チーフ 梶原寿彦（大枝）

庶務 矢倉裕也（西京附属） 会計 柴田貴子（西京附属）

研究部学年チーム 1年担当9人，2年担当11人，3年担当6人

各事業チーム 若手学習会（2人 チーフ 田野 遼（神川））

夏季研修会（2人 研究部チーフと細井悠一（向島秀蓮））

朗読コンクール（7人 チーフ 神農政晃（桂））

風物詩コンクール（3人 チーフ 梶原寿彦（大枝））

幼小中高書写作品展（2人 チーフ 池内理美（京都京北））

書き初め展（2人 チーフ 北川晴香（二条））

学習確認プログラム（10人）



《年間の事業》

総会	5月17日(水) 総合教育センターにて
幹事会	4月28日(金)、7月7日(金) 総合教育センターにて 9月1日(金)北野中にて 2月(予定) 総合教育センターにて
若手学習会等の研修会	10月20日(金)、2月9日(金)総合教育センターにて
夏季研修会	8月4日(金) 総合教育センターにて、及び配信
学習確認プログラム問題検討会	5～8月
幼小中高作品展	9月27日(水)～10月1日(日) 京都市美術館別館にて
第35回朗読コンクール	11月3日(金・祝) 総合教育センターにて
第60回風物詩コンクール	10月中旬～募集 10月28日(土) 審査会 近衛中学校にて
政令指定都市国語教育研究会	11月30日(木)・12月1日(金) 京都大会
第92回 書き初め展	1月13日(土)、15日(月) 総合教育センターにて
研究紀要発行	3月(予定)
プロジェクト研究企画	通年 研究部メンバーによる研鑽・協議
学習会	4月・6月・7月(2回)・9月(2回)・11月

《今後の課題》

- ◇研究部と学習会と夏季研修会のつながりの励起による研究テーマに示す研究会の目標の達成
- ◇学習会の頻度の確保

【社会科部会】

通称：中社研（ちゅうしゃけん） 事務局：京都市立嵯峨中学校 会員数：235名

1. 組織・役員

会 長	森 茂昭（下 京）	顧 問	小西信行（旭 丘） 清水 亮（烏 丸）
副 会 長	石田裕之（栗 陵） 山崎直人（嵯 峨） 間野郁夫（洛 友） 山崎良一（春日丘） 小泉茂雄（修学院） 窪田隆浩（西 院） 川谷内晃治（下鴨） 藤谷 徹（神 川） 杉本貴信（洛 水） 小河 伸（伏 見） 上畑直久（西京附属）		柴崎恭江（京都御池） 国本龍一（洛 南） 中田琢也（開 晴） 福田博天（東山京） 芳山知也（勸 修） 藤川佳久（四 条） 杉本千恵（双ヶ丘） 重田耕成（洛 西） 松島功一（伏 見） 穂積 悠（桃 陵） 乙幡良治（向島秀蓮）
		幹事長	今河慶昭（久 世）
		副幹事長	亀井隆次（栗 陵） 藤本裕之（下 京）
◆研究部	・分野別研究（地理・歴史・公民） ・スタンダード活用促進チーム ・学習確認プログラム		
◆事業部	・政治的教養を育む教育に関する授業研究 ・中学校総合文化祭 ・生徒体験教室 ・社会科教員交流会		
◆庶務部			
◆特別委員会	・同和問題研究 ・外国人問題研究 ・I C T活用教育 ・教育課程		

2. 研究テーマ 「社会科で育てる未来の創り手」 ～ 学び問い続ける姿をめざして ～

3. 活動の記録

- (1) 総会 令和5年5月19日（金） オンライン
・前会長挨拶 ・令和4年度事業報告と決算報告 ・新会長推挙・挨拶
・令和5年度事業計画と予算（案） ・研究部長より ・その他
- (2) 社会科教員指導力向上講座① 令和5年6月14日（火）
単元のまとまりを見通した授業設計 実践発表と演習・協議
- (3) 夏季研修会 令和5年7月27日（木） オンライン開催 講演
教科指導力の向上を目指して ～今後の社会科教育が目指す姿を見通した授業づくり～
令和5年7月28日（金） 集合開催 実践発表・助言・協議
主体的な学びを生み出す社会科の授業づくりを目指して ～実践に向けた取組と協議～
※社会科教員指導力向上講座②③を兼ねる
- (4) 実地研修 令和5年8月22日（火） 京都国立博物館（小学校社会科教育研究会との共催）
貴重な国民的財産である文化財に学ぶ ～茶の湯の道具 茶碗を楽しむ～
※社会科教員指導力向上講座④を兼ねる
- (5) 京都市中学校生徒社会科研究発表会 令和5年11月3日（祝）4日（土） 京都市総合教育センター
展示発表の部 22校 337点の作品を展示
- (6) 全国中学校社会科教育研究大会栃木大会 令和5年11月9日（木）・10日（金）
ライトキューブ宇都宮（栃木県宇都宮市）で開催
- (7) 近畿中学校社会科教育研究大会和歌山大会 令和5年11月17日（金）
和歌山城ホール・和歌山大学教育学部附属中学校で開催
- (8) 社会科教員指導力向上講座⑤ 令和5年1月19日（金）（小総）授業実践力向上講座③ 合同実施
小中一貫教育が社会科を変える 小中合同グループワーク・演習
- (9) 近畿中学校社会科教員交流会 令和6年2月3日（土）京都市開催 下京中学校
- (10) 社会科教員交流会 令和5年6月～令和6年3月まで（毎月第一金曜日開催）10回開催
- (11) 令和6年度 近畿中学校社会科教育研究大会（京都市大会）に向けて
幹事会・分野長会・地理的分野会・歴史的分野会・公民的分野会・拡大準備委員会等を継続的に開催

4. 今後の課題

- (1) 令和6年度 近畿中学校社会科教育研究大会（京都市大会）に向けて、令和元年度の全国大会及び近畿大会の研究成果をもとに、生徒たちが「見方・考え方」を働かせて「資質・能力」を高めることができる単元、これまでに身に付けてきた「見方・考え方」を活用・発揮し、さらなる課題解決に向けて「資質・能力」を高めることができる単元の開発に向けた研究の推進。そして実践を通じた授業改善につなげる。
- (2) 京都市大会に向けての活動や今年度からスタートした社会科教員交流会などを通じて、本研究会の活性化とともに若年教員の育成を目指す。

【数学部会】

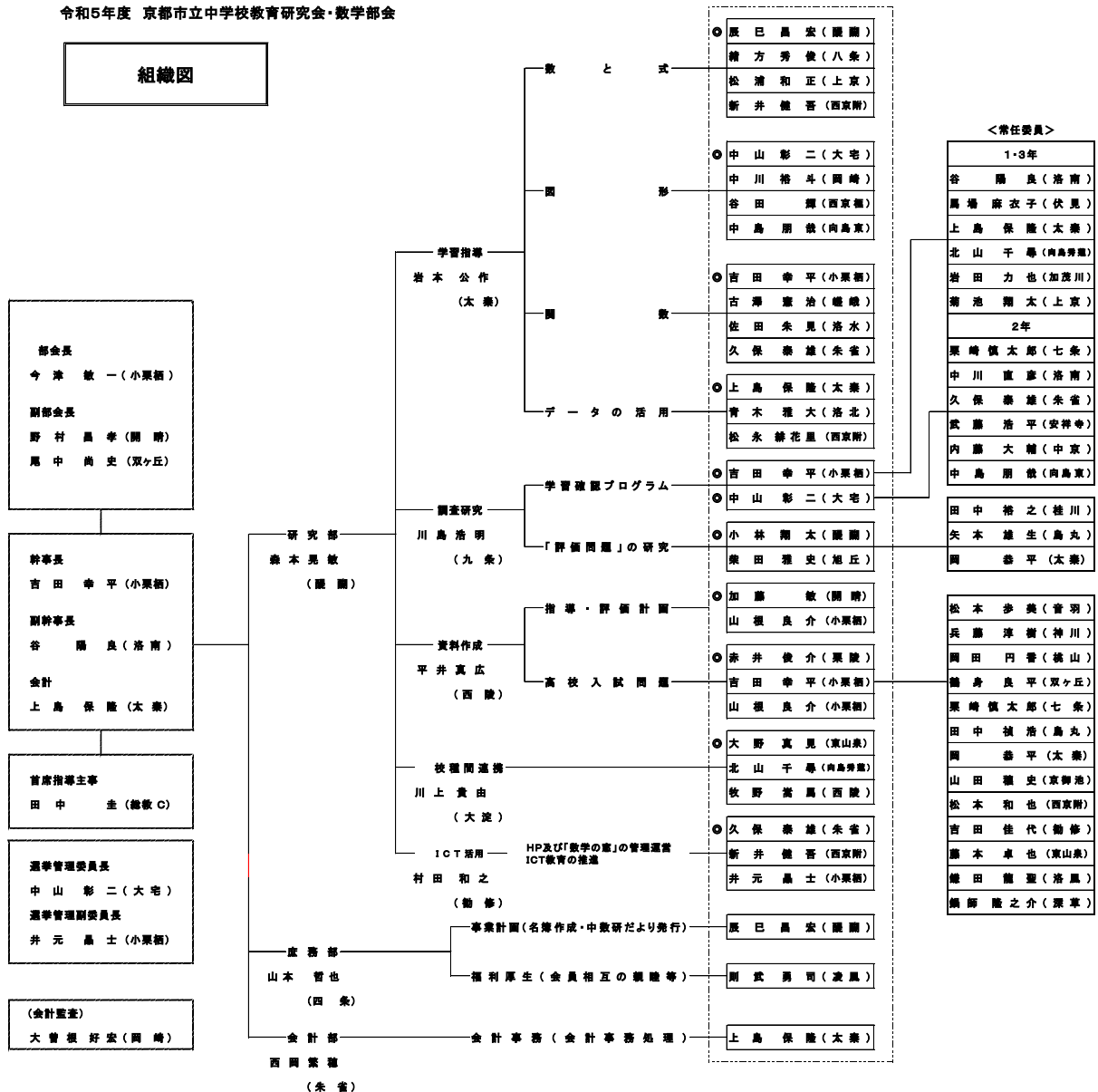
通称：中数研(ちゅうすうけん)

会員数：323名

事務局：小栗栖中学校

【1】組織・役員

令和5年度 京都市立中学校教育研究会・数学部会



顧問	大曾根好宏(岡崎)	森本晃敏(醍醐)	今津敏一(小栗栖)	平井真広(西陵)	岩本公作(太秦)	山本哲也(四條)	川島浩明(九条)
	坂垣嘉郎(花青)	井尻滋明(東山鶴台)	野村昌幸(開晴)	川上貴由(大淀)	村田和之(勧修)	西岡繁穂(朱雀)	尾中尚史(双ヶ丘)
	西谷浩一(西ノ京)	藤訪正(松原)	高橋俊行(大原野)	多田泰和(嵯山)	大野未映子(下鴨)	崎正志(北野)	山岡洋一(中京)
	矢野卓也(西賀茂)	宮部剛(西京附)	福知賢二(太秦)	三田村高秀(桂)	西村智也(醍醐)	山口達也(向島東)	

【2】研究テーマ・具体的活動

【研究テーマ】 学習指導要領における指導と評価の一体化を見据えた授業改善 ～ICTの積極的な活用を視野に入れて～

- ① 学習確認プログラムの充実と改善に向けての問題及び結果の分析と検討及び全国学力・学習状況調査の結果分析と検討
- ② 公立高校学力検査問題及び私立高校入試問題の収集とその分析
- ③ 京都市の課題に即した学習指導基準案の開発研究と実践交流
- ④ 指導力向上のための取組としての研究授業の積極的な実施と充実
- ⑤ 青森大会(全国)・滋賀大会(近畿)・6年度大阪大会(全校・近畿)に向けた研究
- ⑥ 「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業の研究
- ⑦ 研究会が培ってきた成果の新しい研究会HPへのアップを推進し、成果の共有化と指導の改善の効率化を進める
- ⑧ GIGAスクール構想におけるICTの活用及び教材研究や教具開発と活用の推進
- ⑨ 「評価問題」の指導事例の作成とその活用方法の研究
- ⑩ 若手教員の研究会活動への積極的参加を促す創意工夫の推進
- ⑪ 支部授業研への基準案の提案

【3】今後の課題

- ・数学の授業において指導と評価の一体化を見据えた授業改善
- ・算数科との連携により、小中一貫教育推進のための教材開発及び授業研究を行う
- ・タブレット等のICT機器を活用した授業の実践とその効果の検証
- ・プロジェクトホルダ「数学の窓」の整理及び一層の活用
- ・新しい研究会HPの活用と、活性化による外部への研究成果の発信
- ・全国学力・学習状況調査問題や定期テスト問題等を中心とした評価問題の分析及び研究
- ・令和6年度の全国算数・数学教育大阪大会に向けての取組
- ・中数研だよりの発行

【理科部会】

通称：中理研(ちゅうりけん)

会員数：300名 事務局：西京極中学校内

【1】組織・役員

会長：東郷伸也(西京極中学校)

副会長：森廣伸一(洛風中学校)、笠原光徳(松原中学校)、井上俊幸(桃山中学校)、小川秀(岩陰小中学校)

野村一眞(栗陵中教頭)、小笹和久(大枝中教頭)、小山正直(凌風小中教頭)、中大路浩一(二条中教頭)

上澤一馬(深草中教頭)、上田裕(桂川中教頭)、辻光裕(蜂ヶ岡中教頭)、向段新(西陵中教頭)

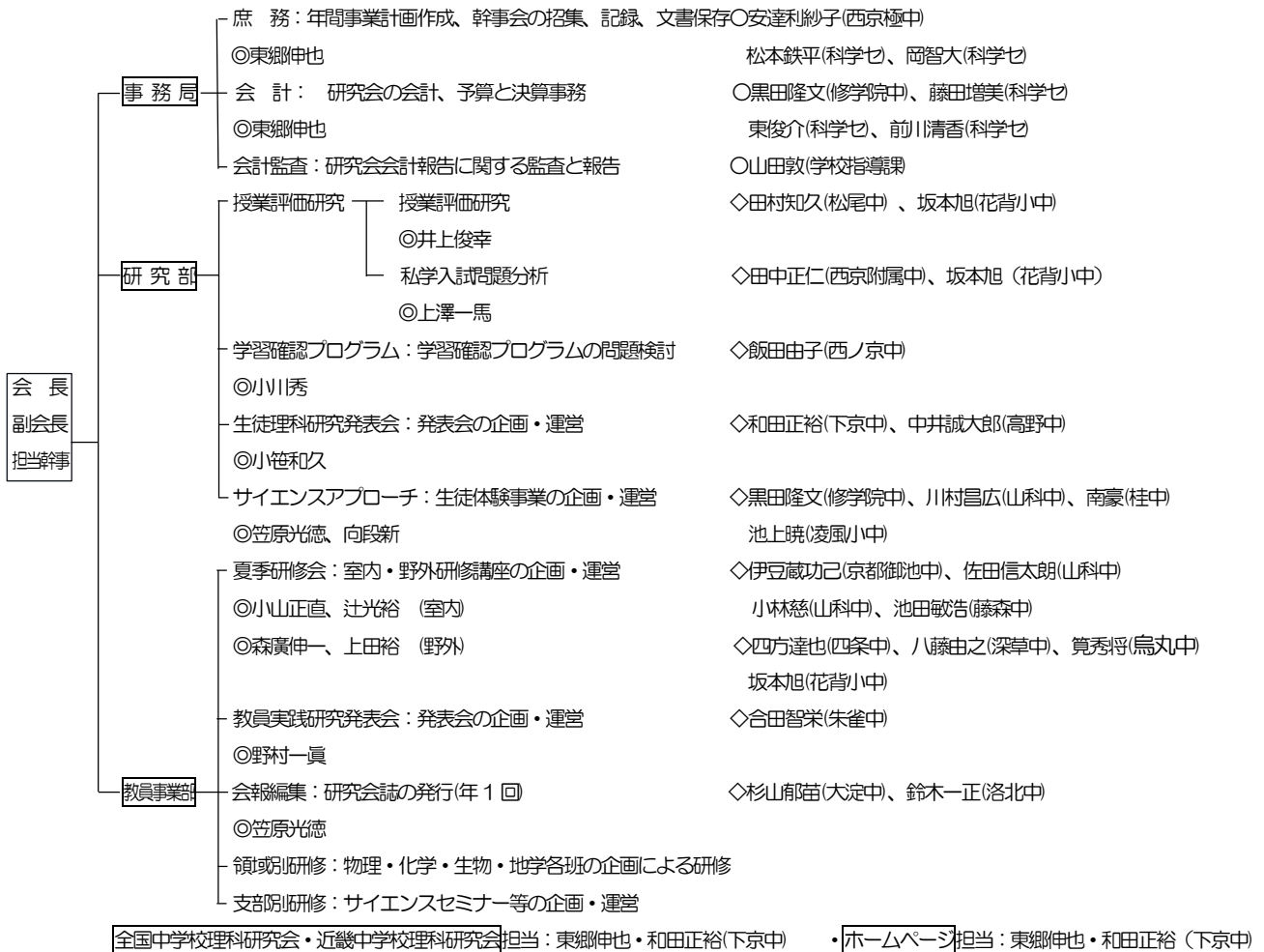
事務局：安達利紗子(西京極中)、松本鉄平(科学セ)、前川清香(科学セ)、藤田増美(科学セ)、東俊介(科学セ)

岡智大(科学セ)、黒田隆文(修学院中)

参 与：中村一郎(白河総合支援学校校長)、大八木智之(葛野小校長)、三科俊一(学校指導課)、山田敦(学校指導課)

三田村結香(総教C)

《 組 織 図 》 (◎役員 ○事務局 ◇担当幹事)



【2】研究テーマ「理科の見方・考え方を働かせて資質や能力を育み、豊かな未来を切り拓く理科教育」

【3】主な活動の記録

5/19 総会(オンラインで開催)

7/28 夏季研修講座(屋外：岐阜県大垣市)

8/4 夏季研修講座(室内：科学を楽しみましょう23)、第48回教員実践研究発表会

8/6~8 第70回全中理 東京大会

10/21 第39回中総文「第74回 生徒理科研究発表会」(2年ぶりに対面開催)

11/11,12 サイエンスアプローチ「科学の祭典でサイエンスショー」(科学センター)

若手道場「理科指導力向上講座」、プロジェクト研究「科学的探究につながる実験教材の開発」、会報の制作

【4】今後の課題 会報の発行について、データ配信に移行

サイエンスセミナー(各支部ごとに開催)の活性化



通称：ちゅうおんけん

令和5年度 事務局：京都御池中学校

会員数：125人

1. 役員および組織

会長	山口 基之 (京都御池中学校校長)	副会長	水上 瑞穂 (修学院中学校教頭)
副会長	柿谷 隆子 (洛北中学校教頭)	副委員長	森田 幹代 (凌風小中学校)
委員長	軸丸 総士 (京都御池中学校)	副部長	齋藤ゆかり (嵯峨中学校)
研究部長	石川栄里子 (西京極中学校)	副部長	江口 葉 (開晴小中学校)
実行部長	野々口美咲 (東山泉小中学校)	副部長	西行 仁美 (藤森中学校)
庶務部長	野口 翠里 (大淀中学校)	副部長	山口 実華 (向島東中学校)
会計部長	出野満里奈 (花山中学校)	会計監査	古田恵美子 (勸修中学校)
会計監査	中田眞理子 (下鴨中学校)		

研究部：第63回近畿音楽教育研究大会京都大会の研究成果の共有

授業改善 (教材やワークシートの研究・合唱指導や指揮の研究・評価研究等)

授業研究チーム (表現領域【歌唱・器楽・創作分野】・鑑賞領域・伝統音楽)

ICT活用, 調査研究 (音楽科テスト等), 小中連携, 研修

実行部：生徒音楽会 オークストラ入門教室 ※教員音楽発表会は中止

庶務部：常任委員会報告 文書作成・発送 資料・記録 (録画・会誌・HP)

会計部：委託費及び中音研の会計事務



2. 研究テーマ

「音楽科教育に関する研究・研修・実践及び事業の企画・運営を行い、会員同士の連携を深める」

3. 活動の記録

- | | |
|----------------|-----------------------------------|
| (1) 授業研究 | 授業研究チームによる研究授業の実施。若手・中堅実践道場の実施。 |
| (2) 研究授業 | 支部授業研究会にて研究授業の実施。 |
| (3) 夏季研修会 | 7月25日 (火) 京都堀川音楽高等学校ホール (小・中音研共催) |
| (4) 生徒音楽会 | 11月4日 (土) 京都堀川音楽高等学校ホール (16校出演) |
| (5) オークストラ入門教室 | 2月7日 (水) 京都コンサートホール |
| (6) 教員音楽発表会 | 中止 |
| (7) 常任委員会 | 研究活動全般に渡り、事業および研修計画・課題の審議。不定期開催。 |
| (8) 定期総会 | 5月23日 (火) (総合教育センター) |

4. 今後の課題

コロナの5類感染症への移行に伴い、ようやく制約のない環境で授業を行うことができるようになり、3年間に蓄積した授業を基に各校で創意工夫のある授業が展開された。夏季研修講座には、作曲家の山崎朋子氏にお越しいただき、自作曲を実際に中学生に指導されながら、合唱指導の様々な手法を教えていただいた。また、小中学校からそれぞれ一人1台端末を使った授業実践の報告があり、大変充実した内容となった。

また、11月4日には「第76回京都市中学校生徒音楽会」を実施した。翌日に「吹奏楽演奏発表会」を実施する吹奏楽研究会と連携し、両研究会が感染症対策について綿密に打ち合わせて実施した。

そして伝統音楽に関しても、継続的に調査・研究活動を行っている。来年度は次期近畿音楽教育研究大会京都大会 (令和9年度) を見据えながら、充実した研究活動を進めていきたい。今後も我々音楽科教員は、学習指導要領の趣旨を生かした授業を構築するために授業改善に努め、本研究会はその基盤となる研究会活動をさらに推し進めていく必要がある。

【美術部会】

通称:中美研(ちゅうびけん)

【1】組織・役員

会長 新谷 幸三(桃陵中学校校長)
副会長 乾 茂樹(西京極中学校教頭) 河内 茂 (加茂川中学校教頭)
幹事長 山本 司 (桂中学校)
副幹事長 湯口みゆき(洛北中学校)
研究部長 若狭 愛 (西ノ京中学校)
事業部長 木下 藤栄(神川中学校)
広報部長 濱田 裕司(桂川中学校)
庶務・会計 市川 由子(梅津中学校) 新田 嘉子(勸修中学校)
会計監査 服部 佳代子(下鴨中学校) 軽尾 達治(八条中学校)

【2】研究テーマ

『生きることの充実 豊かな未来へと導く美術の学び』

- 学校教育全体を視野に入れた美術教育を推進する
- 思考・判断・表現の力につながる、確かなねらいを持つカリキュラムと教材を開発する
- 生徒の主体的・対話的で深い学びを支える授業デザインを探究する
- 生涯にわたり美術を味わい続けるために、京都ならではの連携を図る

【3】活動の記録

*三役会・役員幹事会(ともに隔月1回開催)

◆5/15～18 各部新旧役員会 ◆5/26 総会 ◆6/21美術部顧問総会 ◆7/24 小中連携講座(京都国立近代美術館) ◆8/3 夏季研修講座(京都市立美術工芸高等学校)◆8/23 授業実践交流会 ◆9/20 授業実践交流会 ◆9/27～10/1京都市児童・生徒作品展及び姉妹都市交歓作品展(京都市美術館別館) ◆11/3～11/4 京都市立中学校総合文化祭美術展・京市立中学校美術部展(堀川御池ギャラリー)◆1/29授業実践交流会 ◆2/3～4京都府学校文化・芸術教育美術展(京セラ美術館)

【4】今後の課題

- ① 学習指導要領の内容を踏まえ、生徒の造形的な視点に基づく資質・能力の向上を目指した授業改善の推進。
- ② 全京都美術教育連合・京都芸術教育コンソーシアムなどのネットワークを活用した校種間連携、美術館・博物館連携、地域の美術文化を取り入れた実践等の研究。
- ③ 4ブロックの支部学習会を核とし、実践交流を行いながら若手中堅教員のOJTによる育成。
- ④ GIGA スクール構想を踏まえたICTの効果的活用を美術科の実践を通しての研究。
- ⑤ 若手教員のみならず、講師を含めた美術科教員の自主研修の立案と実施。

【保健部会】

通称：中保研 事務局：洛西中学校 会員：保健体育科教員・養護教員・保健主事

【I】組織・役員

会長	小林 鉄男 (洛西中校長)
副会長	大北 康史 (洛南中校長) 原 秀樹 (安祥寺中校長)
	中川 朋美 (修学院中養護教諭)
幹事長	木田 伸彦 (桂中)
副幹事長	東田 朗宏 (醍醐中)
庶務	岡見 拓 (高野中) 杉田 昇太 (大原野中)
広報	清水 貴幸 (洛北中) 千田 尚樹 (烏丸中)
研究	坂本 直史 (神川中) 石井恵理子 (修学院中) 安川 達彦 (大枝中)
	中村 貴泰 (安祥寺中) 岩本 英生 (伏見中) 村上 謙一 (近衛中)
	松比良菜々 (久世中) 田本 博子 (勸修中) 岩崎 淳史 (西京極中)
	藤田 嘉一 (双ヶ丘中) 吉田 律輝 (衣笠中)
	中村 愛 (東山開晴小中養護教諭) 重森 章子 (二条中養護教諭)

1. ねらい

- ・「健康に関する知識を身に付け、健康の価値を認識することで、自ら健康に関する課題を見つけ、主体的に考え、判断し、行動し、よりよく課題を解決する方法を考える。」
- ・「個人生活における健康・安全に関する理解を通して、自らの健康を適切に管理し、生涯を通じて心身の健康の保持増進を図るための資質や能力の育成を図る。」

上記の項目を達成するために保健教育の基礎を培い、実践力向上のため、会員相互の研究活動を推進し、指導の充実を図る。

2. 研究主題

- ◇学習指導要領に沿った学習指導と評価について
- ◇がん教育・医薬品教育の推進について
- ◇保健教育における性に関する指導（エイズ・性感染症を含む）について
- ◇薬物乱用防止と飲酒・喫煙を中心とした保健指導・保健学習について

3. 研究活動

- (1) 学習指導要領にそった学習指導方法の工夫と改善
 - ◇ICT機器の活用・養護教員とのT.T・連携についての指導法・学習についての研究
 - ◇がん教育・医薬品教育についての指導法・学習についての研究
 - ◇薬物乱用防止と飲酒・喫煙の指導法・学習についての研究
- (2) 評価と評価規準についての研究
- (3) 計画的な研修による活動の活性化（自主学习会等）

4. 活動の記録

5月26日（金）保健体育研究会総会

7月27日（木）夏季保健教育研修講座（総合教育センター）

講義 「生命（いのち）の安全教育について」 筑波大学 名誉教授 野津 有司
協議・演習 「生命（いのち）の安全教育」について指導案の作成

1月26日（金）令和5年度 体育・保健体育学習協議会（東京都）

講義 「現代的な健康課題に対する体育・保健体育学習の推進」
スポーツ庁政策課 教科調査官 横嶋 剛

実践発表①：文部科学省 CBT システム（MEXCBT：メクビット）を活用した授業実践

実践発表②：小学校から高等学校までの「保健」の授業実践及びシンポジウム

（心の健康、病気の予防、傷害の防止、結婚生活と健康、精神疾患など）

2月下旬 伝達研修会 講師 洛西中学校校長 小林鉄男

5. 今後の課題

保健学習・保健教育における指導と評価についての研究や実践と部会の活性化

【体 育 部 会】

通 称 中体研〈ちゅうたいけん〉 事務局 京都市立中京中学校内
会員：京都市立中学校保健体育科教員

〔1〕 組織・役員

《常任幹事》

会 長 高田 幸信（中京）
副 会 長 森下 治樹(加茂川) 山本 慎吾（梅津）
幹 事 長 山口 将司（京都御池） 研究部長 藤井 豊康（衣笠）
事業部長 竹野 理（四条） 庶務部長 中村 貴泰（神川）
庶務副部長 矢野 良地（松原） 広報・会計 森田 ありさ（衣笠）

《研究部》

森 真代（西ノ京） 清水貴幸（洛北） 森本英明（蜂ヶ岡） 畑 秀哉（洛北）
神谷京子（桂） 青野 悟（中京） 濱野真成（桂川） 篠部拓真（加茂川）
杉村崇志（加茂川） 伊藤 賢（伏見） 洞井輝昌（小栗栖） 古田朋美（二条）
川野裕子（上京） 中澤ちえみ（八条） 亀井孝昭（山科） 吉田裕（西ノ京）
福田 優祐（神川） 山口展希（近衛） 井上源太（樫原）
西 慧精・大賀玲子・平山直樹(附属京都) 丸本眞一郎・三村 彩世(附属桃山)

《庶務部》 中村 貴泰（神川） 矢野 良地（松原） 森田 ありさ（衣笠）

《事業部》 竹野 理（四条）

バレーボール 岡本 千里（樫原） 門田 幸恵（藤森）

〔2〕 研究テーマ 『資質・能力を育む「学習評価」のありかた』

体育分野の授業を進めるなかで、資質・能力を育むためには、どのように評価していくのかを
実践例と理論をもとに深める。また、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育む
ために、三観点の学習評価をどのように計画し、生徒の学習改善、教師の指導改善の活かすもの
として実践するかを研究する。

〔3〕 活動の記録

- ① 授業研究 ・「各支部授業研究会」において研究テーマに係る研究協議
・授業研究会（バドミントン、ダンス）
・学びあいの会（柔道）
- ② 研修会 ・ ダンス実技講習会
・柔道実技研修会
・夏季指導者宿泊研修会（実技・理論研修）
- ③ 事業活動 教職員バレーボール ※今年度中止
- ④ 研究会誌「あしあと NO.4 5」作成

〔4〕 今後の課題

- ① 「主体的・対話的で深い学び」についての研究
- ② 小・中一貫教育における、体育授業についての実践事例研究の実践
- ③ 研究会独自の授業研究会を開催

技術・家庭科部会

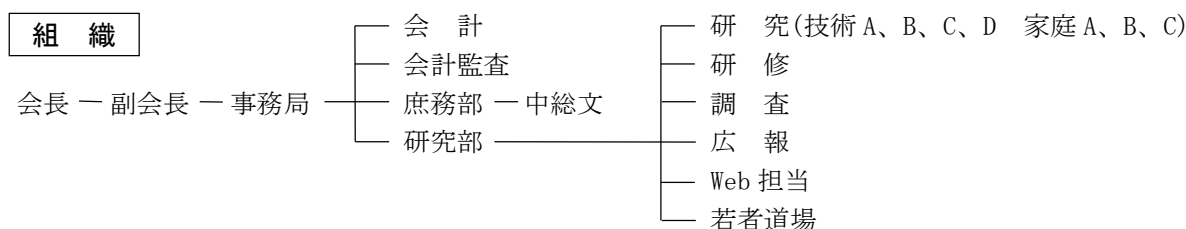
通称：中技家研^{ちゅうぎかけん}

事務局：檜原中学校

会員数：92名

1 役員・組織

- ◎ 会長：土岐 文行（檜原中）
- ◎ 副会長：吉川 康浩（桂川中）・今枝潤之輔（久世中）・小滝 俊則（音羽中）
竹田久美子（向島東中）・深尾 彰（高野中）・浅井 具子（近衛中）
逆水 由紀（花山中）・宮國 雅史（春日丘中）・内海 真奈美（安祥寺中）
田中 省吾（洛水中）・森 英夫（神川中）・小西 和正（衣笠中）
- ◎ 事務局：事務局長：柳井 拓弥（嵯峨中）・事務局次長：向段亜希子（京都御池中）
- ◎ 中総文：大竹口堯良（檜原中）・梅村 直子（山科中）・藤原 若葉（栗陵中）・沼田 和也（同志社）
- ◎ 会計：大竹口堯良（檜原中）・榊原 葉月（檜原中）
- ◎ 会計監査：大竹口堯良（檜原中）・二木 千裕（洛南中）
- ◎ 研究部：部長… 長井 秀樹（修学院中）・池田 純子（下京中）
領域長… 技術A：加志崎保貴（蜂ヶ岡中・九条中）
技術B：林 剣志郎（凌風小中・向島東）
技術C：須原健太郎（伏見中）
技術D：小室賢太郎（向島秀蓮小中・大淀中）
家庭A：濱田 美香（勸修中・九条中）
家庭B：今川 早紀（桂川中）
家庭C：元林 昌代（双ヶ丘中・松原中）



2 研究テーマ

よりよい生活の実現や持続可能な社会を構築する資質・能力を育む技術・家庭科教育

3 活動の記録

- 役員会(4/25、5/12、5/30、7/10、10/3、12/8、2/26)
- 全日本中学校技術・家庭科研究会 (6/3) ○研究会総会(6/5)
- 夏季研修会 技術分野・家庭分野(7/26・8/2)⇒技：下京中、家：総合教育センター
- 木工チャレンジコンテスト京都市大会 (9/23)・全国大会 (1/20)
- 中学校総合文化祭 作品展示(11/3、4 総合教育センター)
- 研究大会参加 近畿大会(11/22 大阪府) 全日本中学校技術・家庭科研究会(11/9 静岡県)
- 若手・中堅実践道場(年間5回) ○プロジェクト研究(技術2チーム・家庭2チーム)

4 今後の課題

- 教材・教具の開発および評価の研究
- 兼務教員の増加に伴う支部研究授業以外の授業交流や情報交換の場づくり
- 各校の技術・家庭科の施設や設備、予算などの課題についての検証と対策
- 今年度実施した自校採点での研究会テストの検証

【英語部会】

通称：中英研

事務局：上京中学校

会員数：約370名

1 組織・役員

- ◎会長：上野 政弘（向島秀蓮小中）
◎副会長：小林 匡子（上京中）・松井 剛史（二条中）
藤井 泉（西ノ京中）・菊地 順維（梅津中）
◎事務局：梶田 哲也（上京中）
◎総務：磯崎 隆将（大宅中）・寺西 大輔（山科中）・斎藤 由三（七条中）
前嶋 武志（下京中）・塩見 登（大淀中）・山本 力也（小栗栖中）
郡山 高司（藤森中）
◎幹事：野村 佑吉（檜原中）・金谷 佳明（岡崎中）・福岡 孝一（醍醐中）
西依 謙（蜂ヶ岡中）・馬淵 朱美（嵯峨中）

活動組織	主な活動内容
研修部	授業研修, 夏季研修など企画運営
生徒活動部	英語学習発表会企画運営
国際交流部	国際交流及び国際理解の推進（ALTと生徒との交流会企画運営）
学習改善部	学習確認プログラムの検討と改善
広報部	「英語教育通信」発行、会誌『中英研・京都』発行、HP運用
事務局	庶務(活動計画・報告)(文書・名簿管理)、会計(予算・決算)(会費管理)

2 研究テーマ

「目的・場面・状況を明確に設定して行う言語活動の充実～実技教科として」
～できる姿を目標として明示し、「深い学び」を通してその達成を目指す授業の研究～

3 活動の記録

- 5/19 総会〔オンライン開催〕
7/27・28 夏季研修講座〔オンライン開催〕
※28日(金) 広島市立美鈴が丘中学校教諭 胡子美由紀 先生による講演
「生徒が主体的に学ぶ授業づくり」
8/2 ALTと生徒のオンラインミーティング
11/3 英語学習発表会〔会場：京都市総合教育センター〕
11/17 近畿公立中学校英語教育研究会連絡協議会 京都大会〔会場：京都経済センター〕
11/24・25 全国英語教育研究団体連絡会総会・研究大会（全英連愛媛大会）
2/1 京都府英語教育研究会連合会連絡協議会〔会場：京都府立鳥羽高等学校〕
3/21 研修部自主研修会〔会場：京都市総合教育センター〕
* 学習確認プログラム作成協力
* 「英語教育通信」発行
* 会報誌「中英研 京都」（電子版）発行

4 今後の課題

- ・「目的・場面・状況を明確に設定して行う言語活動の充実」に向けた取組実践の交流
- ・思考力・判断力・表現力等の育成に向けた指導改善及び評価に関する調査研究
- ・組織の見直しと活動体制の充実

【道徳部会】（通称「中道研」）

◇設立年月日：S34. 7. 15（S41. 4. 1）

◇事務局：朱雀中学校

1. 組織・役員

会長 西岡繁穂（朱雀中校長）
 副会長 藤井 泉（西ノ京中校長） 吉川康浩（桂川中校長） 川上貴由（大淀中校長）
 中大路浩一（二条中教頭） 天谷千恵（高野中教頭） 上田 裕（桂川中教頭）
 阿部成晃（嘉楽中教頭） 下川剛史（東山泉小中教頭）
 幹事長 辻内祥吾（岡崎中） 副幹事長 岡田円香（桃山中）
 総務部 部長：上山貴子（修学院中）
 事業部 部長：上田紗和子（開晴小中）
 研修部 部長：岡田円香（桃山中）

2. 研究テーマ

『自分の考えを再構築し、よりよい生き方につながる道徳教育を目指して』

3. 活動の記録（他に定例企画委員会および勉強会）

5/31	◇総会 「事業・会計報告」「役員選出」「令和5年度研究活動方針」等の提案並びに承認を行う。
7/25	◇道徳教育夏季研修講座 ・方向づけ、まとめ 京都市総合教育センター 指導主事 木下 要子 ・ワークショップ 「深い学びに向かう授業とは ～自分の考えを再構築し、よりよい生き方につながる授業をつくろう～」 桃山中学校 岡田 円香 加茂川中学校 寸田 寛
8/1	◇第28回京都市道徳教育研究大会 <分科会A> ・実践発表①「道徳科で育む 非認知能力」 ～子どもたちが主体的に問題意識をもつ授業展開とは～ 京都市立太秦小学校 高熊 隆志 ・実践発表②「チームで支える道徳教育」 ～学年・職種の垣根を越えて、みんなで創る道徳～ 京都市立大原野中学校 木下 愛実 ・指導講評 京都市総合教育センター 指導主事 岸本 知可 <分科会B> 「子どもたちに届く より効果的な道徳科の授業づくり」 ・実践発表①「小中9年間で育む道徳教育」 ～道徳教育カリキュラム表を活用した道徳的实践力の育成～ 京都市立山科中学校 小林 慈 ・実践発表②「他との関わりの中で考えを深める道徳教育」 ～発問検討シートを使った授業づくり～ 京都市立椋野小学校 木村 春菜 ・指導講評 京都市総合教育センター 指導主事 木下 要子 <講演> 「道徳科の本質に即した学びとはどのようなものか」 —心理学と教育学の知見から— 京都教育大学 准教授 神代 健彦
11/4	◇第65回京都市中学校弁論大会（京都市総合教育センター） ・発表生徒13名
7月 10月	◇道徳研だよりの発行（夏号，秋号を全市配信）
6月 11月	◇道徳学習会（教材研究ワークショップ） 《企画・運営》桃山中学校 岡田 円香 岡崎中学校 辻内 祥吾
3月頃	◇総会 「道徳研究 VOL. 65」発行

4. 今後の課題

- ①組織の拡充（研究会活動への参加者確保） ②授業改善のための学習会の工夫と充実
 ③広報活動の充実（道徳だより，ホームページの充実） ④研究活動の推進

【特別活動部会】

(1) 組織・役員

<役員>

会 長	藤井 泉（西ノ京中校長）		
副 会 長	川上 貴由（大淀中校長） 中大路 浩一（二条中教頭） 宮國 雅史（春日丘中教頭）		
	松島 功一（伏見中教頭） 筒井 清之（西院中教頭）		
幹 事 長	森田 純代（岡崎中）		
総 務	田中 淳一（下京中）		
常任幹事	野間 勇輝（双ヶ丘中）	長谷川 文彦（西京極中）	荒木 道雄（京都御池中）
	乾 由紀（中京中）	田島 亮（京都御池中）	古賀 楓子（大宅中）
	角田 千里（向島東中）	松谷 元嗣（嵯峨中）	河北 良美（七条中）
	加藤 葉（西ノ京中）	田野 遼（神川中）	永井 麻里（西ノ京中）
	村野 太郎（加茂川中）		
会 計	沼田 勉（山科中）		

(2) 研究テーマ・活動目標

- 自主的、実践的な態度を育てるとともに、人間としての生き方及び社会の一員としての自覚を深め、体験活動を通して人間関係を築き、自己を生かす能力を養う特別活動を進める。
- 学級活動の主体者である生徒の活動を支援する学級経営のあり方や生徒会活動のよりよいあり方について研究を進める。

<研究の視点>

- ① 規範意識と自尊感情、人間関係形成力、道徳性などを学級の中で高めるための学級活動のあり方について
- ② キャリア教育の視点に立った適切な進路選択を図るための学級活動のあり方について
- ③ ボランティア活動などの社会貢献に関する生徒会活動のあり方について
- ④ 型にとらわれないよりよい生徒会活動活性化の方法について
- ⑤ 体験活動を重視し、創意工夫を生かした特色ある学校行事のあり方について
- ⑥ 学習指導要領の目標・内容をふまえた特別活動のあり方について
 - ・子どもが変わる特別活動「明るい生徒」「笑顔のある生徒」「元気な生徒」
 - ・なすことにより学ぶ特別活動「原点に戻った学級活動・生徒会活動・学校行事」
 - ・人間力を高める特別活動「子どもたちに、人や社会と関わる力を育てる」

<具体的活動>

- ① 望ましい学級集団づくりについての研究
- ② 基本的な生活習慣、豊かな人間関係、規範意識の醸成についての研究
- ③ 体験活動をふまえた特別活動のあり方についての研究
- ④ 生徒会活動のさらなる活性化とあり方の研究
- ⑤ キャリア教育の視点から考える将来展望と適切な進路選択の指導に関する研究
- ⑥ 研究会主催の自主研修（年2回程度）を行う<11月・2月>

(3) 活動の記録

- 5月 9日（火）第1回常任幹事会（役員委嘱について、総会及び主任会についての協議）
- 5月29日（月）特活主任及び本研究会総会
（4年度事業報告・決算報告、5年度役員選出・事業計画・予算案）
- 6月15日（木）第2回常任幹事会（夏季研修講座について）
- 7月25日（火）特別活動夏季研修講座
- 10月30日（月）第3回常任幹事会（第1回「確かな担任力講座」について）
- 11月28日（火）第1回「確かな担任力講座」
- 1月下旬 第4回常任幹事会（第2回「確かな担任力講座」について）
- 2月 7日（水）第2回「確かな担任力講座」
- 2月下旬 第5回常任幹事会（本年度の反省と次年度への課題について）

(4) 今後の課題

- 学級における話し合い活動の推進
- 生き方探究パスポートの活用についての研究・資料作り・実践例の紹介

【教育相談（カウンセリング）部会】

通称：中カ研 事務局：岡崎中

1. 組織・役員（会員数・・・182名）
 - （会長） 大曾根好宏（岡崎中学校校長）
 - （副会長） 土岐 文行（檜原中学校校長） 今西 邦浩（近衛中学校校長）
 - 森廣 伸一（洛風中学校校長） 菊地 順維（梅津中学校校長）
 - 栗津 亮子（洛風中学校教頭）
 - （幹事長） 宮迫嘉徳（神川中）
 - （副幹事長） 佐田信太郎（山科中）
 - （庶務） 山瀬 悟（二条中）
 - （会計） 坂本 慧介（神川中）
 - （広報） 栗林 洋平（春日丘中） 椎葉 一勲（神川中）

2. 研究テーマ・実践目標
 - ①研究テーマ 「中学校教育活動における教育相談(カウンセリング)の効果的な活かし方」
 - サブテーマ 「～子どもや保護者の行動が示す深層に迫るためにカウンセリングに関する専門的な視点を学び、実践力を高める～」
 - ②実践目標
 - 1 役員の教育相談(カウンセリング)の力量向上と充実を図る
 - 2 「専門的な視点を学べる」研修会や幹事研修会（春・冬）の立案・運営を行う
 - 3 中カ研だよりを通して、中学校現場に教育相談の視点での啓発活動を行う
 - 4 各中学校の教育相談週間向け研修用資料の作成と配信を行う
 - 5 第44回京都学校教育相談研究大会の企画・運営を通して、他校種・他団体との連携を深化させる

3. 主な活動の記録
 - 4月18日（火）第1回役員会 新年度の組織 研究のサブテーマ確認 総会・研修会の打合せ
研修・事業計画の確認 会員募集・名簿作成 勉強会
 - 5月18日（木）総会・研修会
演題「教育に携わる中で大切にしてきたこと」
講師 太田 勝氏（元 中学校カウンセリング研究会会長）
 - 6月1日（木）第2回役員会
 - 6月15日（木）春季幹事研修会
 - 8月4日（金）第44回京都学校教育相談研究大会 於:ウェビナー開催
大会テーマ『子どもの「行動」に込められたメッセージ』
全体会講演 『子どもを信じること』
講師：田中 茂樹氏（佐保川診療所 医師・臨床心理士）
研修会1. 「コロナ禍を生きる子どもたち～ネット問題に込められたメッセージを
読み解く」 佛教大学 副学長・教授 原 清治氏
2. 「自殺予防と健康観察」 スクールカウンセラー 古川 秀明氏
 - 10月5日（木）第3回役員会 冬季研修会の打合せ 於:岡崎中学校
冬季幹事研修会の打合せ 勉強会
 - 10月26日（木）冬季幹事研修会
 - 11月6日（月）冬季研修会（カウンセリングセンターとの共催）
「〈叱る依存〉の科学的理解と心理的援助」
講師 Neurodiversity at Work 株式会社 代表取締役
村中 直人氏（臨床心理士、公認心理師）
 - 1月11日（木）第4回役員会 於:洛風中学校
次年度の取組について 中カ研だよりの発行について 勉強会
 - 3月7日（木）第5回役員会 於:洛風中学校
次年度の総会・研修会の打合せ 次年度の取組について 勉強会

【 人 権 教 育 部 会 】

通 称：中人研
事務局：九条中学校

【1】組織（役員）

- 〔会 長〕川島浩明（九条中）
〔副会長〕岩佐武司（凌風小中）、土岐文行（檜原中）、松井剛史（二条中）、小泉茂雄（修学院中）
〔理 事〕西村府子（洛友中）、塩見 登（大淀中）
〔庶 務〕加藤寛隆（梅津中）、河合 ゆみ（凌風小中）、石田 誠（上京中）、芳尾聖哉（太秦中）、
松比良 菜々（久世中）、山田健人（附属京都小中）、佐藤高文（九条中）
〔会 計〕北田 惇（二条中） 〔全人同教専門委員〕北村 淳（西院中）、小西将三（藤森中）、林 秀晃（修学院中）
〔外国人教育専門部長〕李 大佑（向島秀蓮小中） 〔同和教育専門部長〕林 秀晃（修学院中）
〔男女平等教育専門部長〕高橋俊行（高野中） 〔総合育成支援教育部長〕弓削雅哉（朱雀中）

【2】研究テーマ 『個が輝く人権教育の創造』

～すべての生徒に同和問題をはじめとするあらゆる人権問題解決への実践的態度の基礎を培う～

【3】活動の記録

- (1) 5月31日（水） 「中人研総会」 （リモート開催）
○組織の新体制について、および研究主題・活動の方向性の確認をする。
- (2) 6月以降、随時 洛友中学校二部（夜間）学級見学学習会
- (3) 8月4日（金）「第57回中人研研究集会」 午後 於：京都市立凌風小中学校
（テーマ）『個が輝く人権教育の創造』
～すべての生徒に同和問題をはじめとするあらゆる人権問題解決への実践的態度の基礎を培う～
○方向づけ 佐藤高文（九条中） 作成グループ：林 秀晃（修学院中）石田 誠（上京中）松比良 菜々（久世中）
○実践報告 7校より報告～分散会を行う。
- (4) 8月5日（土）～7日（月） 第42回全国在日外国人教育研究集会 徳島大会
- (5) 10月6日（金） 「第57回京都市人権教育研究集会」（約140名参加） 於：京都市総合教育センター
（テーマ）『個が輝く人権教育の創造』
～同和教育の成果を基盤として、すべての児童・生徒にあらゆる人権問題解決への実践的態度の基礎を培う～
○基調提案 佐藤高文（九条中）他 基調提案作成委員
○実践提案 「差別が見えにくい時代における部落問題学習をどう実践するか、一つの提案」林 秀晃（修学院中）
- (6) 11月25日（土）～26日（日） 「第74回全国人権・同和教育研究大会」 於：京都・大阪・兵庫（共同開催）
「差別が見えにくい時代における部落問題学習をどう実践するか、一つの提案」 報告：林 秀晃（修学院中）
- (7) 2月24日（土） 「第55回人権交流京都市研究集会」 於：京都テルサ
○基調提案 佐藤高文（九条中）、山田健人（附属京都小中）、林 秀晃（修学院中）
○第1分科会 松井剛史（二条中）、弓削雅哉（朱雀中）、佐藤高文（九条中）、北村 淳（西院中）、
高橋俊行（高野中）、岩佐武司（凌風小中）、川島浩明（九条中）
○第3分科会 土岐文行（檜原中）、小泉茂雄（修学院中）、李 大佑（向島秀蓮小中）、松川 創（久世中）

【4】今後の課題

- 研究や発信、集会運営等の活動全般において、持続可能な形態を検討しながら、本市人権教育の更なる発展につなげていきたい。
- これまでに同和教育が大切にしてきたものを継承・発展させ普遍化する。
- 同和問題をはじめとした人権問題認識の深化を図る実践・研究をさらに推進するため、中人研としての活動と4専門部会の活動を充実させる。
- 継続的に研究会活動に関わっていける人材の育成を目指し、次の世代への人権教育の継承を確かなものにする。

【教務部会】

1. 組織・役員（会員数 77 人）

部会長	小野 高志(洛水中学校長)		
副部会長	林 秀雄(松尾中学校長)	副部会長	逆水 英治(烏丸中学校長)
幹事長	中田 晶夫(中京中学校教務主任)	副幹事長	北山 千尋(向島秀蓮小中学校教務主任)
庶務	今岡 和貴(梅津中学校教務主任)	会計	岩崎 俊輔(花山中学校教務主任)
北・上京支部	矢本 雄生(烏丸中学校教務主任)	中京支部	浅田 晃浩(松原中学校教務主任)
下京・南・東山支部	高木 謙(下京中学校教務主任)	左京支部	村上 謙一(近衛中学校教務主任)
山科・醍醐支部	金沢 宏能(栗陵中学校教務主任)	右京支部	曾田 直(西院中学校教務主任)
西京支部	大西 洋平(樫原中学校教務主任)	伏見支部	角田 千里(向島東中学校教務主任)

2. 研究テーマ

『教務主任の責務と課題を自覚し、学校教育目標実現に資する教務主任の役割を研究する』

管理職を除く教職員組織の中で、教務主任が果たす役割は大きく、特に教育課程編成における諸課題への対応研究を通し、学校運営の円滑化や学校教育目標の実現に向け、教職員組織の中核としての意識を高め、いかにそれを実現していくかを研究の主たる目標とする。

また、充実期となった「GIGAスクール構想」の適切な活用を研修するとともに、喫緊の課題である学校の働き方改革についても各校の取り組みを共有し、全市で改革が進むように工夫していく。

3. 活動の記録

- 各支部で教務主任会を実施（11回程度）、各校の情報を共有し合い、よりよい学校運営に供する話し合いを実施。
- 各月の教務主任幹事会を実施し（10回）、各支部での状況を把握すると共に工夫や課題克服に向けた情報を交換し合い、各支部に情報を還元することで情報を共有しあう。
- 全市教務主任総会（書面実施）
- 10.30(月) 全市教務主任研修会
講演「特別支援教育の理解と学校マネジメント」
特別支援教育土スーパーバイザー 総合育成支援課顧問 後野 文雄 先生
- 10.2(月) 教務部会および進路指導部会代表者連絡協議会

4. 今後の課題

- ① 教務主任の役割や責務の自覚及び各校の教育指導計画実現に向けた取組
- ② 教育課程編成における諸課題の明確化と研究・研修
 - * 働き方改革を踏まえた教育課程編成の実施
 - * 若手を中心としたOJT研修の情報交換・充実
- ③ 学校運営の効率化にむけた働き方改革の実践と研究
- ④ 校務支援システムの円滑な運用と成績処理の合理化と改善

【生徒指導部会】

通称：生指研（せいしけん）

事務局：下京中学校

1. 組織・役員 〈会員数…300名〉 ◎…部長
- 会長 川上 貴由（大 淀）
副会長 森本 晃敏（醍 醐） 岩田 智典（東山泉） 竹田久美子（向島東）
石田 裕之（栗 陵）
藤川 佳久（四 条） 柴崎 恭江（京都御池） 上田 裕 （桂 川）
幹事長 眞田 宗明（嘉 楽）
幹事長補佐 平山 直樹（京都教育大学付属京都小中学校）
副幹事長 松本 啓吾（勸 修） 一谷 武志（京都御池） 川崎 大輔（北 野）
庶 務◎吉浪 有香（烏 丸） 白井 純子（東山泉） 小泉 純子（久 世）
東 なつき（嘉 楽）
会 計◎河副 純子（西 陵） 磯田亜沙美（神 川） 武智 真実（春日丘）
研 究 部◎栗崎慎太郎（七 条） 宮迫 嘉徳（神 川） 曾田 直（西 院）
徳永 圭佑（下 鴨） 立入 靖規（下 京） 大崎 浩（桃 山）
竹野 理（四 条） 田島 学（岡 崎）
調 査 部◎磯貝 聡（樫 原） 坂本 直史（神 川） 宮本 慶吾（音 羽）
朝倉 将宏（修学院） 千本 芳久（洛 水） 星野 大亮（東山泉）
平塚 龍樹（嘉 楽） 田島 学（岡 崎） 清水 貴幸（洛 北）
広 報 部◎栗林 洋平（春日丘） 福田 優祐（神 川） 山下 罌（桂 川）
橋元 信勝（大 淀） 福田 京介（旭 丘） 日野亜斗樹（近 衛）
福本 徹也（松 原） 岡本 純平（西京極） 福田 崇大（嘉 楽）

2. 研究テーマ 「 生徒の自己指導能力を育てるために 」

“愛着障害・発達障害を抱える生徒の自己指導能力について研究する”

本研究会では、生徒たち自身が生活の中での問題に気づき、その時その場で何が正しいかを判断し行動する力、すなわち「自己指導能力を育てること」を生徒指導のねらいとして取り組んできた。今年度、本研究会では、“愛着障害”“発達障害”の視点をもって不登校を未然に防ぐための居場所づくりに焦点を当て研究をした。定例の役員会や夏季幹事研修会を通して、愛着障害・発達障害について学び、実際の対応や、授業づくりについて考察する土台作りを行ってきた。また、ワークショップの開催、近畿中学校生徒指導研究協議会京都大会での実践発表、向島東中学における愛着障害の生徒への対応をもとにした学習会など、充実した活動を行うことができた。これらの研究活動について研究冊子『あゆみと研究』を通して、広く発信し次年度の研究につなげる予定である。

3. 活動記録

- ◇毎月の役員会の実施 ◇研究・調査・広報がそれぞれの分野で活動（広報紙を毎月発行）
- ◇夏季生徒指導幹事研修会の開催（8月）
- ◇生徒指導ワークショップ（11月） →
- ◇近畿生徒指導研究協議会：京都大会（11月）
- ◇生徒指導研究会役員学習会（1月）
- ◇「あゆみと研究」の発行（補連との共同）



4. 今後課題

- 愛着障害・発達障害についての知識はもとより、適応に向けた対応方法を広めていく。

進路指導部会

通称:中進研

事務局:烏丸中学校内

1. 組織・役員 会員数:78名(78中学校・小中学校・総合支援学校進路指導主事で組織)
部会長 逆水英治(烏丸中校長) 副部会長 野村昌孝(開晴小中校長)、村田和之(勸修中校長)、
幹事長 本好正明(洛北中) 副幹事長 石井 充(春日丘中)、岡本一義(東山泉小中)
庶務 長行司大也(加茂川中)、足立武史(西陵中)
会計 満田 晋(大宅中)、城 謹次(七条中)

◆ 組織内での仕事内容

- 幹事会:活動全般の企画・立案、会誌作成、進路指導上の課題の研究と対応
- 支部会(北・上、中京、下京・南・東山、左京、山科・醍醐、右京、西京、伏見の8支部)
支部研修の立案(支部幹事)、実践交流、進路情報の交換、進路希望調査と分析等
- 専門委員会
 - ・現職教育部会:新任研修、職場・高校見学の企画
 - ・生き方指導部会:進路学活資料、進路保護者会資料の充実、キャリア教育推進
 - ・進学部会(国公立・私立):入試の諸課題、希望調査、進学指導資料、中高連絡会
 - ・定通制・就職:定時制や通信制の状況、就職状況、ハローワーク・就職者の課題、各種学校
 - ・人権教育:人権上大きな課題を背負う生徒の進路保障、支援生徒進路

2. 研究のテーマ

主題「一人一人の自己実現に向けて、個性の伸長と適性に応じた進路指導の充実をはかる。

～生徒の進路保障を目指して～

- ① キャリア教育・生き方指導としての進路指導の充実
- ② 進路選択(就職・進学等)に関する流動的諸問題の解決
- ③ 情報交換や、小中・中高連携による進路指導の充実
- ④ 進路指導主事の職務に関する研修の充実と校内体制の確立
- ⑤ 奨学金・修学(就学)資金等の制度の理解と周知の徹底

3. 活動の記録

(ア) 年間の活動状況

- 総会 年間3回、全体会 年間 10 回
- 支部会 年間6回
- 専門委員会 年間7回
- 中高連絡会 適宜
- 私学連合会との協議会 6/30
- 夏季研修会 8/2・3・4
- 私立高校合同入試説明会 8/18・21・22
- 公立高校選抜要項説明会 9/8～(オンデマンド)
- 人権進路研修会 10/20
- 近畿進路指導協議会 10/31 和歌山
- 定通制協議会 10/27
- 進路展望の拡大と情報収集 年間 10 回程度
- 新任研修 5/26、10/6

(イ) 活動内容

- 公立高等学校の教育制度についての研究
- 研究テーマに沿った研修と実践交流
- 進路学活の資料作成と研修
- 入試内容と面接、小論文(作文)内容の調査、資料作成
- 進路志望調査とその分析、指導の方向性の検討
- 高校や関係諸機関との協議会
- 育成学級生徒の進路と職業学科についての研修
- 経済的支援制度についての研修
- 中卒就職者の進路指導上の課題についての研修
- キャリア<進路>ノートの活用の研修
- 公立定通制進学者の進路指導上の課題についての研修
- 外国につながる生徒の進路指導
- 進路指導主事の実務についての研修
- 配慮を要する生徒の受検(受験)に関する情報交換、研修

4. 今後の課題

- ① 公立高校の教育と選抜制度改革に対する中進研としてのよりよい進路指導を検討
- ② 進路状況の変化への対応と生徒の「将来展望」を見据えた進路指導の確立
- ③ 進路指導主事としての指導力や情報収集力の向上に向けた時間の確保とガイダンスの充実
- ④ 生徒一人一人への的確な進路情報の提供
- ⑤ 進路指導資料の充実と校内の進路指導体制の確立
- ⑥ 生徒一人一人が自分の適性を発見し、自ら進路選択できる力を身につける進路学活の研究と交流
- ⑦ 職場体験学習、高校体験学習など総合的な学習の時間と関係づけたキャリア教育を基軸とした進路指導のあり方を研究(キャリア<進路>ノートと「キャリアパスポート」の活用)
- ⑧ 人権に関する課題を背負わされている生徒、不登校生徒、日本語指導が必要とされる外国籍の生徒、障がいのある生徒や支援を必要とする生徒の進路展望の拡大
- ⑨ 卒業後の進路及び追指導をもとにした関係機関との連携の充実と未就職者の実態把握
- ⑩ 国・府・市の高校授業料に関する支援金や奨学金等の経済的支援制度に関する周知の徹底
- ⑪ 幹事会の世代交代、次第おくりに向けた人材の育成

【 安全教育部会 】

通 称：中 安 研
事務局：蜂ヶ岡中学校内

【1】組織・役員

会 長 勝原 雅美（蜂ヶ岡中校長）
副会長 小川 秀（宕陰小中校長） 逆水 英治（烏丸中校長）
大町 静代（大宅中校長） 山田 真孝（神川中教頭）
幹 事 坂本 直史（神川中教諭） 竹野 理（四条中教諭） 中村 貴泰（安祥寺中教諭）

【2】研究主題

『生徒自らが自他の安全を守るための実践力の育成』
～適切な安全指導・安全管理を通して～

【3】研究内容

- (1) 学校安全計画による安全教育・安全管理の推進と教職員の防災意識の向上
- (2) 「安全の手引」「安全ノート」を活用した授業研究
- (3) 「京安全通信」の発行（体育健康教育室と連携）
- (4) 防災設備などの校内環境の点検・整備
- (5) 安心・安全な地域を目指しての地域連携
- (6) 警察署や消防署などの関係諸機関との連携
※学校保健会との連携を密にし、研修を深める。
※学校と地域との防災面での繋がりを考える。

【4】活動の記録（年間行事および活動状況）

- ・ 5月 2日（火） 役員会（会則確認・組織・年間計画など）…書面にて
- ・ 5月16日（火） 京都市学校保健会第1回常務委員会
- ・ 6月11日（日） 第74回指定都市学校保健協議会（福岡市）
- ・ 7月11日（火） 京都市学校保健会理事会・評議員会
- ・ 7月27日（木） 第45回近畿学校保健連絡協議会（奈良県奈良市）
- ・ 9月12日（火） 京都市学校保健会第2回常務委員会
- ・ 10月17日（火） 京都市学校保健会健康教育シンポジウム
- ・ 10月26日（木） 全国学校保健・安全研究大会（兵庫県神戸市）
27日（金） 〃
- ・ 12月14日（木） 学校安全指導者研修会（文科省；兵庫県神戸市）
15日（金） 〃
- ・ 3月 4日（月） 今年度の反省と今後の研究課題について打ち合わせ
- ・ 「京安全通信」発行（1～6号）

【5】今後の課題

- (1) 安全教育の意識を高めると共に、安全教育の研修の向上と強化を図る。
- (2) 「京安全通信」の内容検討と活動の推進
- (3) 安全学習の指導力の向上

【情報教育部会】

通称名 : 中情研(ちゅうじょうけん)
事務局 : 久世中学校

【1】組織・役員 (会員数80名)

会長	: 今枝 潤之輔 (久世中)	常任幹事長	: 阿部 真弥 (洛西中)
副会長	: 森本 晃敏 (醍醐中)	副幹事長	: 吉田 幸平 (小栗栖中)
〃	: 深尾 彰 (高野中)	常任幹事	: 多那瀬 真穂 (大枝中)
〃	: 齊藤 由三 (七条中)	〃	: 和田 正裕 (下京中)
庶務	: 多那瀬 真穂 (大枝中)	〃	: 岡田 高芳 (上京中)
会計	: 岡田 高芳 (上京中)	〃	: 川村 昌広 (山科中)
会計監査	: 長井 秀樹 (修学院中)	〃	: 鈴木 一正 (洛北中)
研究部長	: 和田 正裕 (下京中)	〃	: 須田 翔大 (西ノ京中)
研修部長	: 鈴木 一正 (洛北中)	〃	: 西浦 誠人 (加茂川中)
事業部長	: 古澤 憲治 (嵯峨中)	〃	: 吉岡 竜太 (山科中)

【2】研究活動方針

- 《研究部》
1. GIGA 端末を利用した効果的な I C T活用の研究
 - ・教育ソフト, コンテンツの活用方法及びプログラムの研究
 - ・情報教育機器の研究
 - ・GIGA タブレットの活用例の紹介など
 2. 情報教育の実態調査と課題解決のための研究
 - ・光京都ネット内コンテンツの効果的な活用
 - ・LAN 環境におけるシステム管理の現状と課題
 - ・インターネットの効果的な活用法と課題
 3. 中学校におけるプログラミング教育についての研究
- 《研修部》
1. I C T活用, 情報教育機器活用に関する研修の企画・運営
 2. 情報モラル, セキュリティに関する研修の企画・運営
- 《事業部》
1. 公開授業(支部・全市)の企画・推進・まとめ・報告
 - ・情報モラルに関する授業の交流
 2. 研究のまとめ
 - ・研究会のまとめ作成
 - ・中情研ホームページづくり・更新
 3. 情報教育の広報活動
 - ・ソフトウェア, 部会の取組等の紹介
 - ・子ども体験教室の企画, 実施
 4. 情報教育機器の活用に関する工夫についての発信
 - ・冊子, ホームページでの紹介等

【3】活動の記録

4月13日	旧幹事会(部会長選出・総会準備・教職員研修会企画)	久世中学校
5月26日	総会 ➡ 資料配付	
8月1日	教育情報化総合研修会(総合教育センター)	
8月29日	常任幹事会(第1回子ども体験教室企画・情報交換)	久世中学校
10月30日	常任幹事会(第1回子ども体験教室準備・情報交換)	久世中学校
11月3日	第1回子ども体験教室 「プログラムを使ってトイドローンを動かそう」	総教C 久世中学校
12月下旬	常任幹事会(第2回子ども体験教室企画・情報交換)	久世中学校
1月 予定	常任幹事会(第2回子ども体験教室準備・情報交換)	総教C
2月 予定	第2回子ども体験教室	久世中学校
3月 予定	常任幹事会(年度末総括)	

【4】今後の課題

- ・学力向上をめざした GIGA 端末・ソフトウェアの活用研究
- ・情報安全教育・情報モラル教育・プログラミング教育のより一層の推進
- ・中情研組織の活性化
- ・「子ども体験教室」の在り方
- ・総会・教員研修会の在り方
- ・各校において G I G A スクール時代の中心的役割を担える技術や知識の習得研修

【図書館教育部会】

通称 図書研(としょけん)

1. 組織・役員 (会員数 16人)

部会長	瀧本 祐一郎 (大原小中学校校長)	
副部長	岩田 智典 (東山泉小中学校校長)	林 秀雄 (松尾中学校校長)
	高橋 佳久 (七条中学校校長)	
幹事長	樋口 孝枝 (大枝中学校教諭)	
庶務	長谷川万美子 (勤修中学校教諭)	
会計	山口 さやか (太秦中学校教諭)	
会計監査	岩見 洋一郎 (桃陵中学校教諭)	
役員・委員	糸原 登代美 (洛友中学校教諭)	末永 理紗 (勤修中学校教諭)
	藤原 美仙 (西京極中学校教諭)	井上 彰子 (西総合支援学校教諭)
	中辻 佳代 (松尾中学校教諭)	中井 文栄 (音羽中学校教諭)
	小倉 望 (開晴小中学校教諭)	後藤さやか (上京中学校教諭)

2. 研究テーマ

今、求められている「生きる力」の育成実現のため、「主体的・対話的で深い学び」を視点においた学校図書館や公共図書館の在り方について

3. 活動の記録

- ・5月 役員会 zoom開催(年間計画など)
- ・6月13日(火) 総会・研修会 zoom開催(年間計画など)
- ・6月28日(火) 第39回京都府学校図書館研究大会実行委員会
- ・7月 第69回全国青少年読書感想文コンクール 募集案内
- ・7月10日(月) 第1回「子どもの読書活動推進のための懇談会」会場:京都市生涯学習総合センター(アスニー)
- ・7月20日(木) すいせん図書一覧表 作成・全市配信
- ・7月31日(月) 第40回京都府学校図書館研究大会準備会 会場:大原小中学校
- ・8月 中・総 学校図書館活用推進研修会 未実施
- ・10月 4日(水) 第40回京都府学校図書館研究大会第1回準備会 会場:上鳥羽小学校
- ・10月17日(火) 第69回全国青少年読書感想文コンクール一次(京都市)審査 会場:松尾中学校
- ・11月 2日(木) 第69回全国青少年読書感想文コンクール一次(京都府)審査 会場:こども未来館
- ・11月 3日(祝) 京都市中学校総合文化祭 京都市中学校ビブリオバトル大会 会場:京都市総合教育センター
- ・12月15日(金) 第2回「子どもの読書活動推進のための懇談会」会場:京都市生涯学習総合センター(アスニー)
- ・12月18日(月) 第40回京都府学校図書館研究大会第2回準備会 会場:上鳥羽小学校
- ・1月15日(月) 第35回「京都府読書感想画コンクール」中高の部合同審査会 会場:上鳥羽小学校
- ・1月22日(日) 第69回全国青少年読書感想文コンクール表彰式 会場:京都市国際交流会館イベントホール
- ・2月 役員会(年間総括等) zoom開催
- ・2月19日(月) 第40回京都府学校図書館研究大会第3回準備会 会場:上鳥羽小学校
- ・2月 第3回「子ども読書活動推進のための懇談会」 場所:京都市生涯学習総合センター(アスニー)

4. 今後の課題

研究活動の充実のための体制づくり、活動の実現を図る

- ・ 新たな会員の獲得・拡大による役員会の活性化をはかり、持続可能な部会運営を追求する。
- ・ 来年度以降、「ビブリオバトル」を公共図書館との共催によって開催する方向性を具体化する。
- ・ ICTの活用により、読書・学習・情報センターとしての学校図書館機能を充実させる取組を発信する。
- ・ 各校図書館教育担当者への情報発信や取組参加依頼を通して、各校の図書館教育の活性化を推進する。
- ・ 支部図書館教育担当者会を実施するなどし、支部活動の活性化を目指す。
- ・ 公共図書館との連携を進める中で、主体的に読書に親しむ環境づくりの推進を図る。

《発達障害教育部会》

通 称：中発研

事務局：洛北中学校内

〔1〕組織・役員 会員数・・・160名

会 長 小田 浩之（洛北中学校長）

顧 問 上野 政弘（向島秀蓮小中校長）・大北 康史（洛南中学校長）

副会長 丸 民代（西ノ京中）・多那瀬 真穂（大枝中）

幹 事 竹中 由佳（北野中）・仲谷 美穂（山科中）・堀井 俊克（神川中） 庶務 多那瀬

千葉 祐嗣（洛北中）・岡村 美江（音羽中）・木村 俊晴（春日丘中） 会計 丸

〔2〕研究テーマ 『一人ひとりを大切に、発達の可能性を最大限に伸ばす教育をめざして

～将来に向けて今つけるべき力を考える～』

〔3〕活動の記録

（1）年間行事・活動一覧

月 日	行 事	会 場
6月23日	合同球技大会	島津アリーナ
7月25日・27日	施設見学研修会・夏季情報研修会	飛鳥井ワーク・洛北中学校
8月4日	近特連京都市大会	京都堀川音楽高校ホール
8月22日～23日	夏季宿泊学習(サマーキャンプ)	花背山の家
8月29日～9月4日	科学センター学習	青少年科学センター
9月28日～10月1日	京都市幼児児童生徒作品展、姉妹都市交歓作品展	京都市美術館 別館
10月19日・20日	全特連徳島県大会	徳島県
12月1日	合同運動会	島津アリーナ
1月13日・15日	第92回京都市中学校生徒書き初め展	京都市総合教育センター
2月1日～4日	第46回大合同作品展「小さな巨匠展」	京都市美術館 別館
2月19日～20日	冬の宿泊体験学習	花背山の家
2月	研究紀要「麦の芽」(第73号) 編集・印刷	京都市総合教育センター

（2）幹事会 毎月第1火曜日 北野中学校・洛北中学校

（3）定例会 毎月第2火曜日 総合教育センター、北野中学校

〔4〕今後の課題

（1）合同行事の意義を踏まえつつ、全会員の協力体制の構築、さらなる内容の充実を目指して検討する。

（2）講師が半数を超えた現状を鑑み、障害・発達に応じた教育課程の自主編成に役立てるためによりよい指導計画の検討や実践事例研究、教材・教具の開発等の充実を図る。

（3）高等部職業学科(白河・東山・鳴滝)及び普通科への進路指導の進め方を確認・徹底すると共に定時制・通信制や私学など支援学校以外の進路希望の増加と多様化を踏まえ、進路保障・進路指導の充実を図るために、これまで以上に研究や情報交換をすすめる。

（4）育成学級に入級してくる生徒の障害の多様化に伴い、育成学級の運営や活用における問題、就学指導や発達障害のある生徒への支援の在り方、LD等通級指導教室との連携など様々な検討課題がさらに増加している。研究会として、今後も大きな視野に立って継続的に検討していく。

【二部学級部会】

通称：二部研

1 組織・役員

会長	間野 郁夫 (洛友中校長)	研究部	朝岡 洋一 (洛友中教諭)
副会長	土岐 文行 (樫原中校長)		柿 佑爾 (洛友中常勤講師)
〃	西村 府子 (洛友中教頭)	〃	尾崎 北斗 (洛友中常勤講師)
総務部	細井 雅博 (洛友中教諭)	〃	内田 直 (洛友中常勤講師)
研究部	若松 栄一 (洛友中教諭)	〃	川村 紗穂 (洛友中常勤講師)
〃	新谷 路子 (洛友中教諭)	〃	伊藤 晴美 (洛友中養護教諭)
〃	城戸 美乃 (洛友中教諭)	経理部	糸原登代美 (洛友中教諭)

2 研究テーマ・活動目標

「新渡日生徒、形式卒業生徒の増加に伴う一層の多様化に対応するための学習指導の研究および、二部学級を必要とする人への情報周知のための効果的な広報活動のあり方についての研究」

- ①生徒の学力実態を把握し、それに対応した指導法と学習教材の研究と作成
- ②各教科における有効な日本語指導のあり方の研究・実践
- ③社会性、協調性の育成と必要な教養を身につけることを目指した学校行事等の企画・実践
- ④近夜中や全夜間研、他都市の夜間中学校など、先進的な取組を学び、学校教育への有効活用
- ⑤夜間中学校設立に向けた自治体等の取組に対する情報提供と学校視察等の積極的に受け入れ
- ⑥昼夜間部の年齢・国籍等の多様な生徒の交流を促進するための取組の研究と実践
- ⑦積極的に学校公開の機会を設ける。各校の人権教育への貢献、形式卒業者への周知などを図る
- ⑧二部学級の存在が、幅広く周知されるような広報のあり方や地域交流の研究と実践
- ⑨生徒の実態にあわせた ICT (GIGA 端末) を活用した指導のあり方の研究・実践

3 活動の記録 (年間計画・活動状況)

- ①年間研究計画協議会 (年度当初)、次年度課題協議会 (年度末)
- ②研修会事業 (年 10 回) …生徒理解・教育課程・学習指導・進路指導・ICT 活用等
- ③夜間学級生徒調査 (年 2～3 回) …生徒実態調査・健康調査・設置校実態調査等
- ④他夜間中学校への視察 (東京都、神戸市、奈良県)、交流 (奈良市、姫路市、札幌市) などの活動
- ⑤視察・人権交流・外部研修会などの随時受け入れ (1 月末現在約 40 件)
- ⑥全国夜間中学校研究会 (全夜中研)・近畿夜間中学校連絡協議会 (近夜中協) に関する活動
6/23 全夜中研理事会 12/1, 2 全国夜間中学校研究大会
- ⑦第 31 回東九条マダン作品展参加 (11 月 3 日: 元山王小学校)
- ⑧夜間中学校の周知を図るための広報活動 (夜間中学校を紹介するための絵本作成・配布など)
- ⑨研究誌『夜空』刊行事業 (年 1 回年度末刊行)

4 今後の課題

- ①日本指導の効果的な方法や教材作成についての研究と実践
- ②形式卒業者増加による一層の多様化を踏まえた学習指導や組織編成についての研究と実践
- ③形式卒業者をはじめとした、個々に課題を持つ生徒への指導のあり方についての研究と実践
- ④年齢や国籍の違いなど、互いの違いを尊重し、自尊感情や社会性を育てる体験活動や昼間部の学級生徒との交流活動の研究と実践
- ⑤学習指導だけでなく、生活を豊かにするための効果的な ICT 活用についての研究と実践
- ⑥夜間中学校を必要とする方に周知されるための効果的な広報活動等の検討と実践
- ⑦生徒個々の目標を尊重し、将来展望を実現させるための進路指導のあり方についての研究と実践

[へき地・小規模校教育部会]

中へき研（ちゅうへきけん）

事務局：宕陰小中学校

(1) 組織・役員 会員数 26名

会 長	小川 秀	(宕陰小中校長)
副 会 長	板垣 嘉郎	(花背小中校長)
庶 務	有本 重厚	(宕陰小中教諭)
会 計	明田 圭子	(宕陰小中教頭)
会計監査	足立 尚弘	(花背小中教頭)
研究委員	小林 修	(花背小中教諭)
	有本 重厚	(宕陰小中教諭)

(2) 研究テーマ・活動目標

○研究テーマ

学校間の連携を深める中で、へき地・小規模校の特性をふまえ、個に応じた学習指導方法を研究・推進することにより、学力と社会性を兼ね備えた生徒の育成を図る。

○活動目標

- ① 各教科・領域の研究活動を活発にし、各校の課題に応じた研究を推進する。それらの取組を相互に交流することにより、更なる指導力の向上を図る。
- ② 生徒の個性を伸ばし、自らの生き方を考えさせ、主体性を高めさせる研究活動を推進する。
- ③ 合同行事を通じて、生徒達の交流を深め、自主性や社会性を高める活動を推進する。
- ④ へき地・小規模校の特性を生かし、義務教育学校として9年間を見据えた教育課題について研究を深める。
- ⑤ へき地の地理的条件を克服していくために、情報機器等の積極的な活用を推進する。
- ⑥ へき地校の変容を踏まえ、小規模校との連携を深め、今後の研究会活動の改善と推進を図る。

(3) 活動の記録（年間計画・活動状況）

- ・ 5月22日 年度当初総会（於 ことす京都里山 SDGs ラボ）
- ・ 7月 2日 合同研修会（於 花背小中学校）
- ・ 8月29日 合同学習（於 花背小中学校）
- ・ 9月 5日 合同校外学習（嵐山フィールドワーク）
- ・ 10月12日～13日
- ・ 全国へき地教育研究大会（近畿へき地教育研究大会）
- ・ 10月20日 宕陰小中学校 研究発表会
- ・ 11月 2日 花背小中学校 研究は票会
- ・ 2月 日 年度末総会

(4) 今後の課題

京都市に2校だけのへき地校である花背小中学校と宕陰小中学校の連携を軸に研究が進められた。生徒の合同学習だけでなく、総会や合同研修を通して教職員同士の連携も強化できた。2校とも児童生徒の伸ばすべき資質・能力を明確に捉えた研究の報告ができ、京都市のへき地教育の在り方を改めて考える契機となった。生徒数のさらなる減少が予想される中、へき地の特性を最大限に活かしたふさと教育の有効性を次年度以降も継承していきたい。

京都市立中学校教育研究会吹奏楽部会

組織・役員

部会長 山口基之（京都御池中学校校長）
 副部会長 柿谷隆子（洛北中学校教頭）
 顧問 平林秀二（総合教育センター研究課参与）
 指導助言 水谷佳代（総合教育センター指導主事）
 委員長 丸山早希（京都御池中学校）
 副委員長 寺内久貴（四条中学校）



事業部 ○吹奏楽演奏練習会 丸山早希（京都御池中学校）、川田栞（四条中学校）、
 ○中総文吹奏楽演奏発表会 前川達郎（大淀中学校）、野々口美咲（東山泉小中学校）、
 長谷川学（神川中学校）、木下純（上京中学校）、
 寺内久貴（四条中学校）、細矢衛（山科中学校）
 ○楽器講習会 木下僚（洛北中学校）、橋本順子（烏丸中学校）、
 西村結奈（深草中学校）、西中悠（京都京北小中学校）、
 研究部 調査担当 丸山早希（京都御池中学校）、寺内久貴（四条中学校）
 庶務部 丸山早希（京都御池中学校）、西村結奈（深草中学校）、西中悠（京都京北小中学校）、
 前川達郎（大淀中学校）、木下僚（洛北中学校）、細矢衛（山科中学校）
 会計 西中悠（京都京北小中学校）、橋本順子（烏丸中学校）、川田栞（四条中学校）
 会計監査 木村綾（下鴨中学校）

(1) 研究テーマ

吹奏楽部の活動の充実を図るために、指導法及び有意義な部活動のあり方を研究する。

(2) 活動の記録

月日	名称	内容等
5/1	旧常任委員会	令和5年度事業計画案、総会に向けて等
6/7	定期総会	令和4年度事業・決算報告及び承認 令和5年度役員・計画・研究テーマ等提案及び承認
7/26	吹奏楽演奏練習会	右京ふれあい文化会館にて実施（7校参加）
9/13	常任委員会	吹奏楽演奏発表会について、今後の事業日程について、地域移行について
10/30	常任委員会	吹奏楽演奏発表会の運営について、楽器講習会について
11/5	吹奏楽演奏発表会	堀川音楽高等学校音楽ホール 16校（504人）出演
12/7	常任委員会	吹奏楽演奏発表会の総括、楽器講習会の運営について
1/20	楽器講習会	洛北中学校にて（175人参加）
2/26	常任委員会	年度末総括、次年度活動計画策定
3月	基本調査の実施	楽器等の物的条件と顧問・指導者の人的条件の把握

(3) 今後の課題

- 研究会活動をより充実・継続・発展させるための、教科の枠を超えた幅広い人材の発掘と育成。
- 各校での活動実態や楽器整備状況などの調査による課題の明確化。
- 部活動ガイドラインを踏まえた限られた時間での効果的な指導方法の開発・共有。
- 日々の活動や楽器講習会などの事業の実施方法の確立。
- 部活動地域移行に関する課題について

【新聞教育部会】

事務局：嵯峨中学校内

【1】組織・役員

会長 山崎 直人（嵯峨中・校長）
副会長 上畑 直久（西京高附属中・副校長） 藤川 佳久（四条中・教頭）
 福田 博天（東山泉小中・副校長）
理事長 石田 誠（上京中）
副理事長 石田 典子（久世中） 川北 雅美（松原中）

【2】研究テーマ

「主体的・対話的で深い学びを実現する新聞教育～新聞教育の日常化を通して～」

学習指導要領でも、新聞の活用は思考力・判断力・表現力を高めるうえで効果的であると、新聞を活用した授業の工夫を求めている。新聞記者によって深く情報読解された記事を教材として取り上げることによって、「なぜ、どうして」というニュースの背景を深く読み解くことができる。また、新聞づくりの活動は、それ自体が取材という情報収集に基づいた「思考・判断・表現」の活動そのものである。新聞教育に取り組む学校や教員は少なからずいるものの、研究会として横のつながりを構築できているとは言い難い。平素の学習の中で新聞の活用が有用であると考え、新聞作成の手法を発信することで、すそ野を広げたい。

○京都市立中学校における壁新聞づくりの伝統を生かして、新聞づくりを活用した情報発信について調査・実践・研究を進めるとともに、当研究会で作成・印刷をした新聞用紙（A3）の無償提供により各校の新聞制作を支援・推進する。

○授業や総合的な学習の時間等で必要な「活用する力」を高めるために、どのような取組が効果的であるかをNIE活動の実践を踏まえて研究を進める。

○各校の授業や取組に資する教材やwebサイトについて情報提供を行う。

○小学校新聞教育研究会との連携を図り、新聞教育の在り方についての研究を進める。

【3】活動の記録

5月19日 京都府NIE推進協議会幹事会・定期総会（京都新聞社）
6月8日 第1回理事会・総会（メール回議で開催）
7月22日 第60回 小・中学生記者による文化財取材コンクール（光照院門跡）
 [公益財団法人 京都古文化保存協会 との共催]
8月3・4日 第28回 NIE全国大会愛媛大会（愛媛県民文化会館）※2名参加
8月21日 NIE実践者懇談会（京都新聞社）
10月27日 第2回理事会・中総文新聞コンクール審査会（嵯峨中学校）
11月2・3日 第39回 京都市中学校総合文化祭新聞展（総合教育センター）
12月6日 第60回 文化財取材コンクール表彰式（京都アスニー）
2月2日 第23回京都府NIEセミナー（京都新聞社）
3月8日 第3回理事会（メール回議で開催）

【4】令和5年度京都府NIE実践指定校

京都市立小栗栖中学校〔2年目〕 京都市立西京高等学校附属中学校〔1年目〕

【5】今後の課題

- 新聞活用の現況を踏まえ、潜在的な活動（個人・団体）を支援・推進していく。
- NIE推進協議会等 関係諸団体との連携を図り、各校への支援体制を整える。
- 新聞教育やNIEに関わっている教員を掘り起こし、また若手教員への育成も行いつつ、会員を募って研究会活動を活性化させる。
- 教科教育や図書館教育等との連携を図り、新しい展開を模索する。
- 各種コンクール等への参加を広く呼びかけ、取組の拡充を図る。
- 教科等での新聞制作を支援するために、引き続き新聞用紙の提供を進める。
- 次年度のNIE全国大会京都大会に向けて、実践指定校とともに協力体制を構築する。

【放送教育部会】

1 組織・役員〔加盟校 72 校〕

部会長 岩佐 峰之(京都市立西京高校附属中学校長)

副部会長 久保 泰雄(京都市立朱雀中学校)

幹事長 八藤 由之(京都市立安祥寺中学校)

幹事

京都市立修学院中学校	栗山 准
京都市立神川中学校	西尾 治男
京都市立藤森中学校	中山 芳明
京都市立安祥寺中学校	森川 和貴
京都市立梅津中学校	稗田 昂
京都市立藤森中学校	藤田 香世
京都市立烏丸中学校	福井 佑梨
京都市立八条中学校	小林 碧
京都市立藤森中学校	藤田 香世
京都市立西京高等学校附属中学校	松永 緋花里
京都教育大学附属桃山中学校	渡邊 恵子
ノートルダム女学院中学校	中西 悠子
花園中学校	佐崎 加南子
洛南高等学校附属中学校	澤田 篤努
大谷中学校	谷口 剛

2 研究テーマ・活動目標

研究テーマ:豊かな感性と生きる力を育む放送教育の役割についての検討

－生徒アナウンスの技術向上により、学校行事や生徒会活動での放送教育の充実を図る－

活動目標

高度に情報化された現代社会では、学校に限らず社会の様々な現場において、各種のメディアをいかに効率よく活用して、正確かつ迅速に情報を伝達することが大きな課題となっている。本研究会は、本市中学生のアナウンス、朗読及び映像等の番組制作の技術向上の機会を企画し、その企画を通じて、放送技術や視聴覚教材を活用した放送番組の制作技術向上を図るとともに、京都市立中学の放送教育の充実と活性化に資す。



3 活動の記録(令和5年度年間活動計画)

7月10日 NHK杯全国中学校放送コンテスト 京都大会

11月11日 近畿放送教育研究大会 京都大会

11月4日 日本教育メディア教育学会

2月 4日 京都市中学校アナウンスコンクール



4 取り組み成果と今後の課題

(1) 本部会の主催する NHK 杯全国中学校放送コンテスト京都大会及び京都市中学校アナウンスコンクールへの参加中学校が以前は、固定化する傾向が見られていたが、コンクールの参加部門を増やすことで、多様な生徒が参加しやすくなるよう工夫をしている。さらに、団体部門を新しく設けることで、コンクールの参加生徒数は年々増加している。

来年度に向けて、古典の部の創設を準備している。

(2) 加盟する上位組織への加盟登録費用の財源について、その確保の方策を引き続き検討する。

(3) 情報教育部会との組織合同が可能か、引き続き模索する。

【演劇部会】 (通称「中劇研」)

◇会員15名(9校) ◇事務局:洛星中学校

【1】組織・役員

会長 笠原 光徳(松原中学校長)
副会長 小田 浩之(洛北中学校長)
事務局長 片山 知行(洛星中学校)・鍵山 千尋(立命館中学校)
事務局次長 千葉 祐嗣(洛北中学校)
会計 松坂 夏海(音羽中学校)
庶務 千葉 祐嗣(洛北中学校)・加星 あづさ(京都女子中学校)
田畑 彰子(同志社中学校)

ドラマスクール担当 加星 あづさ(京都女子中学校)

発表担当 片山 知行(洛星中学校)・鍵山 千尋(立命館中学校)

大道具 片山 知行(洛星中学校)

会計監査 西出 佳菜(同志社国際中学校)

演劇フェスティバル担当 片山 知行(洛星中学校)

【2】研修テーマ・活動目標

○テーマ 「心と身体の解放を目指して」

☆演劇の創造と鑑賞の活動をとおして、生徒の人間形成に資そうとする演劇教育を
中学校教育で、さらに活用できるように個々の教師力の向上を図っている。

☆演劇部の顧問以外にも関心を持ってもらえたらと考え、取組に関して発信するこ
とを一層重視する。

☆ICTの活用を図る。

{具体的内容}

- ①学校演劇の指導法の研究・研修
- ②演出の方法の研究・研修
- ③発声・身体表現の研究・研修
- ④照明・音響・道具等の技術の研究・研修

【3】活動の記録(年間行事・活動状況・例会、役員会等は必要に応じて開催)

○主な年間行事

4月15日(月)	第1回中劇研例会 ・今後の活用内容について ・大会を開催するための留意事項など
5月20日(土)	講習会・研修会
6月3日(土)・6月4日(日)	リハーサル・研修
6月11日(土)・6月12日(日)	春の合同発表会
7月31日(月)・8月19日(土)	ドラマスクール
9月10日(日)	第2回中劇研例会 ・秋の発表会参加校決定及び抽選会 ・役割分担及び大会運営に関する決定事項の 確認
11月3日(祝金)・5日(日)	秋の合同発表会(京都市中学校総合文化祭)

【4】今後の課題

- ①発表会場の確保
- ②照明・音響等についての研修の実施
- ③研究成果の記録
- ④指導法などのマニュアルづくり
- ⑤文化部(演劇部等)の活性化
- ⑥京都府高等学校演劇連盟との連携
- ⑦ICTの活用
- ⑧会場使用料の確保

〔食教育部会〕

通 称: 中食研 (ちゅうしょくけん)

事務局: 旭丘中学校

1. 組織・役員会員

会 長	谷川 玲子	(旭丘中学校校長)	副会長	小林 匡子	(上京中学校校長)
副会長	古口 賢一	(嘉楽中学校校長)	副会長	原 秀樹	(安祥寺中学校校長)
副会長	竹田久美子	(向島東中学校校長)			
幹 事	中西 仁美	(旭丘・嘉楽中学校教諭)	幹 事	新谷 裕美	(上京中学校教諭)
幹 事	池田 純子	(下京中学校教諭)	幹 事	地家しずか	(栗陵・醍醐中学校教諭)
幹 事	今川 早紀	(桂川中学校教諭)			
担当主事	島 さやか	(総合教育センター)			
担当主事	出野 豪宏	(体育健康教育室)	担当主事	竹中 万裕	(体育健康教育室)

2. 研究テーマ・活動目標

『中学生の食に関する意識の向上と食教育としての指導の充実を図る』

中学生の食に関する意識を向上させること並びに食教育に関する指導の充実に向け、その指導内容・方法についての研修・研究を深め、中学校に発信する。

- (1) 学校現場での食に関する指導のあり方についての研修 (「食に関する指導の全体計画」に基づいた取組・指導の検討)
- (2) 自主研修会の開催
- (3) 他の研修会・食に関する講座等に参加、伝達研修の実施
- (4) 食教育に関する標語等、中学校の食教育に取り組む意識向上の手立てを検討

3. 活動の記録

- 5月30日 ・中学校給食・食教育推進部会
講義①「食に関する実態調査を踏まえた食教育の実践について」(指導主事 竹中万裕)
講義②「各校での食育の推進について」(副主任指導主事 出野 豪宏)
協議 「各校における昼食指導の実践交流・残乳を減らす取組について」
- 6月1日 ・第1回食教育部会…今年度の活動、「中学校給食レシピ募集」について
- 6月 ・「中学校給食レシピ募集」
- 8月～12月 ・食教育に関するアンケートや食に関する標語、実践事例募集等、中学校での食に関する意識の向上と食教育に取り組む手立てを各校で検討、実践
- 9月19日 ・第2回食教育部会…「給食レシピ」審査、「標語」「実践事例」募集について
- 10月 ・「食に関する中学生標語」および「食に関する実践事例」の募集
- 2月 5日 ・第3回食教育部会…「標語」優秀作品の選定、本年度の反省と今後の課題
- 2月 日 ・「食に関する実践事例」の全市発信

4. 今後の課題

- (1) 研究会活動の体制づくりと活性化。
- (2) 中学校へ食育の啓発(広報活動)と食教育の更なる推進(実践事例)。
- (3) 「食に関する指導の全体計画」を踏まえ、各教科領域・各学年と連携して指導を推進する。

「総合的な学習の時間部会」 (通称：ちゅうそうけん)

事務局：加茂川中学校

1 組織及び役員

会員数 80名

部会長	森下 治樹	加茂川中学校	校長
副部会長	今津 敏一	小栗栖中学校	校長
副部会長	瀧本祐一郎	大原小中学校	校長
幹事長	前川 俊	花山中学校	教諭 (シニアマイスター)
副幹事長	藤本 裕之	下京中学校	教諭
庶務	岡田 辰也	醍醐中学校	教諭 (マイスター)
会計	月城 優紀	上京中学校	教諭 (マイスター)
企画	今河 慶昭	久世中学校	教諭 (シニアマイスター)
企画	野間 勇輝	双ヶ丘中学校	教諭 (マイスター)
企画	山中麻由実	京都御池中学校	教諭
企画	福島 由佳	洛北中学校	教諭
企画	乾 由紀	中京中学校	教諭
企画	東 俊介	科学センター	主任主事

2 研究テーマ「学習指導要領に則した「総合的な学習の時間における主体的・対話的で深い学び」を追究する」

(1) 研究目的

「主体的・対話的で深い学び」を総合的な学習の時間とどのように関連付けて各教科で実践していくかについて、主体的な学びの視点では「学習活動を発展的に繰り返していく過程を重視し、課題設定と振り返りの充実」である。また、対話的な学びの視点では「他者との協働や外界との相互作用を通じて、自らの考えを広げ深めるような学びの充実」が必要であり、深い学びの視点では「今まで以上に学習過程の質的向上」ことがそれぞれ必要となる。京都市における小中一貫教育の展開のもと、本研究会が主体となり、全市的な交流を深める中、最大の教育効果を生み出すことを目的とする。

(2) 研究内容

- 実践交流を積極的に進め、具体的な指導のアイデアや指導技術の交流を図り、自校で実践できる力を身に付けてもらえるようにする。オンラインを活用してすぐにできる実践教材を工夫する。(小学校・高等学校との連携も視野に入れる)
- 実践交流を積極的に進め、具体的な指導のアイデアや指導技術の交流を図る。
- 学習会を定期的に行い、経験の浅い総合的な学習の時間主任の研修を深める。
- 小中一貫の視点に立ち、学びの連続性の研究をすすめる。(合同での研修会の推進の強化)
- 「中総研だより」の充実をめざし、担当者の拡大と意識改革を進める。
- 教科および道徳、特別活動などの横断性の確認とクロスカリキュラムの可能性の研究を進める。
- 高校、大学、民間などとの連携や外部資源の活用方法などについてそのノウハウを高める。
- 研究会活動への参加者を募り、組織の拡大を図ると同時にモデル校の幅を広げる。
- 指導計画(京都市スタンダード)を使った研修を深める

3 活動の記録

・令和 5年 5月17日(水)	第1回役員会	オンラインにて
・令和 5年 5月30日(火)	総合的な学習の時間主任研修会・総会	総合教育センター
・令和 5年 6月 2日(金)	授業実践向上講座①(警報のため延期)	総合教育センター
・令和 5年 8月 1日(火)	生活・総合的な学習の時間指導講座(夏季研)	オンラインにて
・令和 5年 9月26日(火)	授業実践向上講座②参加	総合教育センター
・令和 5年10月29日(日)	小・中・高等・総合支援学校児童・生徒ポスター発表会参加	
・令和 6年 1月19日(木)	第2回役員会	加茂川中学校
・令和 6年 2月19日(月)	学習会	下京中学校

4 今後の課題

集合研修とオンライン等ICTの活用が進んでいることを機に、中学校独自の取組はもちろん、小中合同での取組をより多くの学校と共有することを充実していきたい。また、小学校の研究会とも連携し、生活科も視野に入れつつ、各中学校ブロックでの「7年間を見通した全体計画」の作成を積極的に推進していく必要がある。さらに評価に向けた一定の指針を出し、「主体的・対話的で深い学び」を総合的な学習の時間をどのように活用することによって実現できるかを考察し、発信することが来年度の課題である。

【研究主任部会】

事務局：小栗栖中学校

1. 役員及び組織

部会長	今津 敏一（小栗栖中）		
副部会長	平井 真広（西陵中）	副部会長	野村 昌孝（開晴小中）
幹事長	中島 朋哉（向島東中）	副幹事長	越田 友喜（向島秀蓮小中）
庶務	和田 正裕（下京中）	会計	元氏 宏輔（開晴小中）
北・上京	高橋公美子（衣笠中）	中京	合田 智栄（朱雀中）
下京・南・東山	月城 正登（東山泉小中）	左京	加納 由美（洛北中）
山科・醍醐	亀井 隆次（栗陵中）	右京	永田 慶（梅津中）
西京	森岡 恵美（檜原中）	伏見	望月 悟（神川中）

2. 研究テーマ

「資質・能力を育成できる授業づくり」 ～『個別最適な学び』と『協働的な学び』を意識して～

◇各支部の主任会が実りあるものになるようにするために

・全市研修のための企画 ・全市の情報収集→発信→各支部へ→各校へ ・テーマに関連した取組の情報交換

3. 活動の記録

- 4月10日（月） 第1回役員会
- 4月17日（月） 全市研究主任研修会（第1回）及び研究主任部会総会
 - 「校内研究の推進と充実を図るために」 総合教育センター 指導主事 東谷 祐子
- 5月 8日（月） 第1回幹事会
- 5月15日（月） 第1回支部研究主任研修会
- 6月12日（月） 第2回幹事会
- 6月19日（月） 第2回支部研究主任研修会
- 9月12日（火） 第3回幹事会
- 9月25日（月） 第3回支部研究主任研修会
- 10月16日（月） 第4回支部研究主任研修会
- 10月30日（月） 全市研究主任研修会（第2回）研究会主催 京都市総合教育センター指導室長 東良 雅人
 - 「主体的・対話的で深い学びの実現を図る授業改善－指導と評価の一体化の視点から考える－」
- 11月27日（月） 第5回支部研究主任研修会
- 12月 4日（月） 第4回幹事会
- 12月18日（月） 第2回役員会
- 1月22日（月） 第6回支部研究主任研修会
- 1月29日（月） 全市研究主任研修会（第3回） 研究会・総教C 共催
 - 「義務教育学校の特色を生かした資質・能力の育成について」京都市立開晴小中学校 教諭 元氏 宏輔
 - 「校内研究の進め方」 京都市立八条中学校 教諭 桶作 浩子
- 2月 5日（月） 第5回幹事会
- 3月 4日（月） 第3回役員会

4. 今後の課題

- 全市研究主任会について→初任の研究主任の先生も多く、講義の内容が難しかったという意見もあり、研究主任としての資質・能力の向上の必要性も見られた。
- 支部授業研修会について→育成学級の方法として見直す必要があることと、支部研に参加する教員の意識（師範授業が提案されるわけではない）がある。各支部での伝達と共通理解が必要であると感じた。各教科の研究会ともタイアップし、基準指導案の活用など新しい試みを広げていきたい。
- 評価について→各校3観点での評価の実践が進められ、各支部においても情報の共有が進められた。しかし、各観点の評価方法（とくに主体的に学習に取り組む態度）については、全市的な情報共有と見直し、更なる研究の推進が次年度以降も必要であると感じる。
- GIGA スクール構想について→全市的に進捗状況を共有する場面が少なかった。支部研での提案も含めて端末の有効な活用の授業例を共有することは次年度も必要である。

【環境教育部会】

事務局：桃山中学校内

【1】 組織・役員

会 長 小川 秀（宕陰小中）
副会長 井上 俊幸（桃山中） 辻 光裕（蜂ヶ岡中） 上田 裕（桂川中）
幹事長 中井 誠太郎（高野中） 副幹事長 川北 雅美（松原中）
会 計 和田 正裕（下京中）
幹 事 田村 和久（松尾中） 八藤 由之（深草中） 池上 暁（凌風小中）
石井 宏篤（下京中）
参 与 牧野 茂樹（大原小中） 河合 彩子（科学C） 茶木 正（呉竹総合支援）

【2】 研究テーマ

「SDGs（持続可能な開発目標）の実現に向けた環境教育の推進の在り方」

温暖化や自然破壊など地球環境の悪化が深刻化し、環境問題をはじめとする人類の生存と繁栄にとって緊急かつ重要な課題の解決に向け、SDGs（持続可能な開発目標）の取組が地球規模で盛んに行われている。エネルギーの効率的な利用など環境への負荷が少なく持続可能な社会を構築することが大切である。そこで、次代の担い手である生徒がエネルギー・環境問題にすすんで関心を持ち、それらに関する理解・考察を深めるとともに技能を身につけ、SDGsの実現に向けて、適切に判断し行動できる資質や能力を養う指導の在り方を研究することとした。

研究内容

環境課題を正しく理解し、「新エネルギー」「再生可能エネルギー」などを題材とした教材開発・および学習指導法の実践、研究を進める。また、ワークショップや研修等を通して、持続可能な社会の構築をめざし、エネルギー・環境問題の解決に向け、生涯を通じて主体的かつ適切に判断し行動できる生徒の育成に向けた指導力の向上を図る

【3】 活動の記録

6月26日 総会・第1回幹事会

8月4日 総合教育センター課題別研修会

「環境教育研修講座～最先端の環境技術・生きた教材から環境学習を考える～」

主催）京都市教育委員会、京都市環境政策局

11月19日 京都府立植物園「樹木と文化」において

『持続可能な社会づくりのための環境教育』をテーマにしたブースを出展

2月 第3回幹事会・総会・研究交流会

【4】 今後の課題

- 役員、会員ともに組織体制の強化を図ること。
- 生徒が参加できる事業展開を推進すること。
- 研究会活動についての広報活動の活性化（HPの活用等）を図ること。



【生き方探究教育(キャリア教育)部会】

事務局：七条中学校内

(1) 組織・役員

会 長	高橋 佳久 (七条)	
副会長	増田 隆生 (花山)	今津 敏一 (小栗栖)
	森下 治樹 (加茂川)	
委 員	上畑 直久 (西京高校附属)	三田村 高秀 (桂)
	今河 慶昭 (久世)	上島 保隆 (太秦)
	佐藤 翼 (音羽)	坂口 良人 (向島秀蓮)
	奥園 祐子 (四条)	杉村 朗 (太秦)
委員会	山田 敦 (学校指導課)	吉岡 健志 (生き方探究館)
	岡本 清之 (生き方探究館)	
顧 問	初田幸隆 (学校指導課)	石飛 聡 (生涯学習部)

(2) 研究テーマ

「生き方探究教育の視点を生かした、授業づくり、学級・学年づくり、学校づくり」
～未来をよりよく生きるために生徒の可能性を見つけ、引き出し、伸ばすキャリア教育～
活動の方針

- ① 生き方探究教育の理解を広げる
- ② 生き方探究教育推進のための実践的な研究を推進する
- ③ 他校種・他地域の「生き方探究・キャリア教育研究会」との連携を図る

(3) 活動の記録

6月	前期総会	リモート開催
8月1日	生き方探究(キャリア)教育実践講座	生き方探究館
11月20日	生き方探究(キャリア)教育研修会	リモート開催
2月	後期総会	

(4) 今後の課題

- 「キャリア教育の視点で教育活動を捉え直す」ことの意義や実践を追求する。
- 「キャリア・パスポート」の有効的な活用を研究する。
- 会員拡大に向けての取組を行う。
- 他地域の「生き方探究・キャリア教育研究会」との連携を図る。

【LD等支援教育部会】

通称：中L研

事務局：栗陵中学校

[1]組織・役員

- [部会長] 石田裕之（栗陵中学校校長）
- [副部会長] 石原廣保（桃陽総合支援学校校長） 竹田久美子（向島東中学校校長）
大曾根好宏（岡崎中学校校長） 菊地順維（梅津中学校校長）
長谷川亜美（呉竹総合支援学校校長）
- [教育委員会] 前川智子（総合育成支援課副主任指導主事）
- [幹事長] 小山享子（衣笠中学校） [副幹事長] 千代優樹（桃陽総合支援学校）
- [庶務] 玉置宣子（伏見中学校） 菊地浩美（西総合支援学校） 小山千栄美（大枝中学校）
- [研究部] 菊地浩美（西総合支援学校） 小山千栄美（大枝中学校） 西脇優美子（北総合支援学校）
井本綾子（高野中） 堀野大輔（大宅中） 平林文佳（嵯峨中学校）
- ◎通級指導部会：岡崎有紀（久世中学校） 山口広美（四条中学校） 佐々木有利（京都御池中学校）
- ◎UD・ICT教育部会：川村昌広（山科中学校） 池上賢治（藤森中学校） 今濱文博（洛南中学校）
- [広報] 上田俊佑（北総合支援学校） 山口 翼（洛水中学校）

[2]研究テーマ・活動目標

研究テーマ「よりそい～連携から協働へ～」

研究目標『LD等支援教育の充実と発展を図る視点から多様な教育的ニーズを必要とする子どもたちを、誰一人取り残さない指導内容や指導方法を研究する』

取組み ①通級指導教室から通常学級につながる支援教育 ②個別の指導計画の見直し ③LD等支援教育の視点からGIGAスクール構想へのアプローチ ④UD・ICT ⑤校内体制への啓発 ⑥他府県での取組等

[3]活動の記録 *幹事会（毎月1回）中L研便り作成・ホームページの更新は随時

4月 第1回幹事会（栗陵中）組織編成、研究テーマの検討、研修・事業計画・会員募集名簿作成

6月21日 研究部会総会および研修会

実践報告「校内における個別の指導計画の作成を目指して」大枝中学校 小山千栄美

研究報告「中L研版 個別の指導計画」 大宅中学校 堀野大輔

7月 第2回幹事会 夏季研修会打合せ

8月2日 夏季研修会 講演「京都市立伏見工業高等学校と京都市立京都奏和高等学校の通級指導教室の取り組み・連携」

京都市立伏見工業高等学校通級指導教室担当 岡村 友加里先生

京都市立京都奏和高等学校通級指導教室担当 小槇 哲平先生 ・ 学年主任 西本 幸史先生

9月～11月 伊丹市立笹原中学校訪問・日本LD学会参加・舞鶴市立城南中学校訪問

2月6日 冬季研修会 ワークショップ・講演「(仮)支援を要する生徒の事例から」

講師 京都教育大学 鈴木英太先生 事例提供 花山中学校 黒田未葉先生

2月 幹事会 個別の指導計画検討会・まとめ

[4]今後の課題 総会において個別の指導計画を提案し、いくつかの学校で利用しています。来年度も個別の指導計画について

は継続的に研究していきます。また、訪問した学校のUDに特化した取り組みを基に多様な教育的ニーズを必要とする子どもたちの教育の推進及び充実を目指し、その指導内容や指導方法を事例研修・講演会等を通して研究していきます。

第39回

京都市中学校

総合文化祭

プログラム

京都市立近衛中学校 3年 小嶋野乃さんの作品



令和5年10月21日（土）
～11月5日（日）

主催 京都市立中学校教育研究会
京都市立中学校長会
京都市教育委員会

第39回 京都市中学校総合文化祭 実施日時・会場

名称	期日	時間	会場
生徒理科研究発表会	10月21日(土)	13:00~17:00	京都市青少年科学センター 映写講義室 〒612-0031 伏見区深草池ノ内町13 TEL:642-1601 FAX:642-1605
美術展	11月3日(金・祝) 11月4日(土)	11:00~16:00	堀川御池ギャラリー 〒604-0052 中京区油小路通御池押油小路町238-1 TEL:255-9023 FAX:255-9023
新聞展	11月3日(金・祝) 11月4日(土)	10:00~15:00	京都市総合教育センター 1階 アクティブラーニングエリア 〒600-8023 下京区河原町通仏光寺西入 TEL:371-2340 FAX:371-2441
生徒社会科作品展示			
技術・家庭科生徒作品展	11月3日(金・祝)	9:00~17:00	京都市総合教育センター 地階 第3研修室 〒600-8023 下京区河原町通仏光寺西入 TEL:371-2340 FAX:371-2441
	11月4日(土)	9:00~16:00	
朗読コンクール	11月3日(金・祝)	13:30~16:00	京都市総合教育センター 1階 第1研修室 〒600-8023 下京区河原町通仏光寺西入 TEL:371-2340 FAX:371-2441
弁論大会	11月4日(土)	13:00~16:00	京都市総合教育センター 4階 永松記念ホール 〒600-8023 下京区河原町通仏光寺西入 TEL:371-2340 FAX:371-2441
ビブリオバトル	11月3日(金・祝)	13:30~17:00	京都市総合教育センター 3階 美術研修室 〒600-8023 下京区河原町通仏光寺西入 TEL:371-2340 FAX:371-2441
生徒音楽会	11月4日(土)	開場 開演 午前の部 9:45 10:00 午後の部 13:15 13:30	京都市立京都堀川音楽高等学校 音楽ホール 〒604-0052 中京区油小路通御池押油小路町238-1 TEL:253-1581 FAX:213-3631
吹奏楽演奏発表会	11月5日(日)	開場 開演 午前の部 9:45 10:00 午後の部 12:45 13:00	
演劇合同発表会	11月3日(金・祝)	開場 開演 12:50 13:10	立命館大学以学館キャンパス第1号ホール 〒603-8346 京都府京都市北区等持院北町62
	11月5日(日)	11:10 11:30	
英語学習発表会	11月3日(金・祝)	10:30~12:00	京都市総合教育センター 4階 永松記念ホール 〒600-8023 下京区河原町通仏光寺西入 TEL:371-2340 FAX:371-2441
子ども体験教室 (プログラミングでドローンを動かそう)	11月3日(金・祝)	9:00~11:00	京都市総合教育センター 1階 第1研修室 〒600-8023 下京区河原町通仏光寺西入 TEL:371-2340 FAX:371-2441



表紙の作品

作者 島田敬吾 (桃陵中学校 3年)